

第七十五回帝國議會
衆議院
鑛業法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第十二回

付託議案
鑛業法中改正法律案(政府提出)
(第六二號)
砂鑛法中改正法律案(政府提出)
(第六三號)
(有總合事業法案(政府提出)(第八三號)
石炭配給統制法案(政府提出)(第九一號)

會議

昭和十五年三月十四日(木曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 櫻井兵五郎君
理事 澤田 利吉君 理事 中井川 浩君
理事 山田 清君 理事 篠原 義政君
理事 小山田 義孝君 理事 川俣 清音君

山本 厚三君 手代木隆吉君
岡野 龍一君 本田彌市郎君
村松 久義君 小柳 牧衛君
宮澤 胤勇君 長野 長廣君
卯尾田毅太郎君 山田 順策君
匹田 銳吉君 井阪 豐光君
木暮武太夫君 久山 知之君
鶴 惣市君 川崎巳之太郎君
原口初太郎君 箸本 太吉君
東條 貞君 森田 福市君
松尾 孝之君 松本治一郎君
加藤 鎌造君 三田村武夫君
小池 四郎君 長谷 長次君
朴 春 琴君 松村 光三君
三月十三日委員坂本宗太郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ朴春琴君ヲ議長ニ於テ選定セリ
三月十四日委員內藤正剛君及松尾三藏君辭任ニ付其ノ補闕トシテ本田彌市郎君及山田清君ヲ議長ニ於テ選定セリ
三月十四日理事松尾三藏君ノ補闕トシテ山田清君理事ニ當選セリ

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣 藤原銀次郎君
出席政府委員左ノ如シ

商工政務次官 加藤鎌五郎君
商工省鑛產局長 小金 義照君
商工省化學局長 永田彦太郎君
燃料局長官 東 榮二君
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

鑛業法中改正法律案(政府提出)
砂鑛法中改正法律案(政府提出)
有機合成事業法案(政府提出)
石炭配給統制法案(政府提出)
○櫻井委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、石炭配給統制法案ヲ議題トシテ、前會ニ引續キ質疑ヲ繼續致シマス
○松尾委員 私ハ政府ニ資料ヲ御願シタイト思ヒマス、私ハ今日カラ委員ニナツタ關係上、或ハドナタカ前ニ御要求ニナツタノガアレバ、ソレデ結構デアリマスガ、第一ニ炭鑛用材、例ヘバ油、坑木、鐵材、建築材、機械類「ベルト」、「ワイヤー」、地下足袋等、斯ウ云フモノノ需要ト配給狀態、次ニハ右用材ノ價格指數、昭和十三年ノ單價引下當時ヲ百トシテ最近マデ、其ノ次ニハ坑夫ノ移動狀態、最近三箇年位、坑夫ノ募集狀況、半島人職業紹介所、其ノ他、炭鑛勞働者ノ賃銀、最高最低平均三年位、婦人勞働者ノ現狀、事變後應召歸還技術者及ビ勞働者ノ數、炭鑛ノ健康保險組合ノ給付ノ狀態、

次ニハ學校卒業業者採用制限令施行後ニ於ケル需給ノ狀態、以上デアリマスガ、政府ニ非常ナ御手數ヲ煩ハスノハ恐縮デスカラ、分ル程度デ結構デアリマス、ソレカラ成ベク炭鑛ダケガ見タイノデアリマスガ、他ノ鑛山業ト區別ノ付カナイモノハソレデモ結構デアリマス、以上ヲ御願致シマス
○加藤委員 一寸政府ニ御尋致シマスガ、資料ヲ請求シテ居ツタノデアリマスガ、マダ御提出ニナツテ居ラス分ガ澤山アリマス、ソレカラ統計ガ非常ニ古イノデス、新シクテ十一年マデノ統計シカナイノデアリマスガ、モウ少シ新シイ、少クトモ十三年度分マデハ調査ガ出來テ居ルノデハナイカト思ヒマスカラ、御提出ヲ願ヒタイト思ヒマス、若シソレガ出來テ居ツテモ、他ニ理由ガアツテ御提出ガ出來ナイノカドウカ、御同致シマス
○東政府委員 資料ノ點ニ付テ申上ゲマス、昨日マデニ御要求ノアツタ資料デ公表シ得ルモノハ、全部差上ゲマシタ積リデゴザイマス、數字ニ付キマシテハ、御承知ノヤウニ大分公表出來ナイモノガゴザイマスノデ、サウ云フモノハ差上ゲルコトガ出來ヌ譯デアリマス、ソレカラ統計ニ付キマシテハ、昭和十一年マデハ一般ニ公表サレテ居リマスノデハ差上ゲマスガ、其ノ以後ノ分ハ、統計ハ出來テ居リマスケレドモ、只今申シマシタヤウニ是ハ發表シナイコトニナツテ

居リマス、隨テ此ノ石炭ノ需給關係等ニ付キマシテハ、適當ナ機會ニ之ヲ申上ゲル機會ガアラウカト存ジマスカラ、印刷シタモノデハ、之ヲ差上ゲルコトヲ御許ヲ願ヒタイト思ヒマス
○櫻井委員長 此ノ場合一寸申上ゲマス、昨日理事會ニ於キマシテ、關聯質問ハ御遠慮ヲ願ツテ、成ベク自分ノ順位ノ場合ニ御述ヲ願フ、斯ウ云フコトニ申合セガ出來タノデアリマスカラ、此ノ段御含ミ置キヲ願ヒタイノデアリマス——山本厚三君
○山本委員 本案ニ付キマシテハ、本會議ニ於テ九人ト云フ殆ド空前ノヤウナ質問ガアリ、之ニ對シテ直接大臣カラ御答辯ガアリマシタガ、大體ニ於テ政府ノ所信ヲ述ベラレタダケデアツテ、其ノ詳細ノ説明ニ至ツテハ委員會ニ讓ルト云フコトデアリマシタ、昨日ハ大臣ガ御不在ノ爲ニ、事務的ノコトヲ他ノ政府委員ニ伺ツタノデアリマスガ、本日ハ御提案ノ本旨ニ付テ伺ツテ見タイト存ジマス、此ノ問題ハ世間ニ於テモ會議ニ於テモ非常ニ重要視セラレマシテ、會議ニ於テハ稅制案ニ次グ重大法案ト云フコトニナツテ居ルヤウデアリマス、然ルニ洵ニ遺憾ナコトニハ、本會ニ於ケル出席者ガ多イ時デ五六千人、最後ノ時ニハ三十五人ヨリシカ居リマセヌ、是ハドウ云フコトカラ來タカ知リマセヌガ、之ニ關係ノアル九州、北海道、常磐等ノ委員ハ御出席ニナツ

テ居ツタガ、各派ノ院內總務ノ幹部スラ殆
ト出席致シテ居リマセヌ、是ハドウ云フコト
ヲ現ハシテ居ルカト云フコトヲ、私ハ非常ニ疑
ツテ居ルノデアリマスルガ、同時ニ又政府ニ於
キマシテモ、單純デハアルケレドモ、世間
ニ非常ニ反對モアリ、又重要性ノアル難シ
イ法案ヲ——提案ニナツテカラハ二週間以
上經チマスガ、今日ヨリハ僅カ十二日ヨリ
シカナイ、既ニ鑛業法ノ改正ニ付キマシテ
モ、十八日ヲ要シテマダ委員會ガ終了致シ
テ居ラス、本日午後はハ決リマセウガ、要
スルニ十八日掛ツテ居ルノデアリマス、
ソレニ此ノ會期切迫シタ時ニ御提案ニナリ
マスルト、是ハ中々將來ノ慣例ニ見マスル
ト、此ノ通過ト云フコトハ至難ナノデアリ
マス、ソコデ私ハ最初ニ大臣ノ所信ヲ伺ツ
テ置クノデアリマスガ、有ユル機會ニ御答
辯ニナツタ通りニ、ドウシテモ是ハ此ノ際
ヤラナケレバ他ニ方法ハナイ、唯一無二ノ
法案デアルト云フ非常ナ強イ確信ノ下ニ御
出シニナツテ居ルコトハ明カデアリマスル
ガ、此ノ議會情勢ニ於テ相當ニハ困難ト御
見受ニナツテ居ルト私共モ想像シテ居ル
ガ、飽マデ是ハ御主張ニナツテ、ドウシテ
モ此ノ貴衆兩院通過ノ貫徹ヲ期スルト云フ
固イ御決心ガアルカドウカト云フコトヲ伺
ツテ置キマセヌト、折角勉強シテ論議シテ
モ、サウデナイヤウナコトニナルト、洵ニ
遺憾デゴザイマスルカラ、之ニ對スル商工
大臣ノ御所信ヲ先ツ伺ツテ置キタイト存ジ
マス

民生生活ニモ多大ノ不安ヲ與ヘ、國家産業ニ
モ重大ナ影響ヲ來タシマシタコトハ、山本
君ニ於テモ能ク御承知ノ通りデアリマス、
之ニ對シテ取敢ヘズ臨時應急ノ手段ヲ講ジ
マシテ、漸クニ一時臨時ノ手段ハ相濟ミマ
シテ、一時ノ不安トカ、産業上ノ狀態ハ稍、
元ニ復シテ居リマスルコトハ、政府ニ於
テモ聊カ満足致シテ居ル所デアリマスガ此
ノ調子デ、此ノ儘デ參リマスレバ、又明年
度ノ渇水時期ニ於キマシテ、再ビ同様ノ不
安ヲ來スコトハ殆ド想像シ得ルコトデアリ
マスルノデ、何事ヲ措イテモ是ガ對策ヲ講
ジテ、明年度ニ於テハ再ビ今年度ノ如キ事
態ノ發生ヲ致サナイヤウニ致サナケレバナ
スラト云フコトハ、是ハ當然ノコトデアリ
マシテ、現内閣ニ於テモ其ノ當時カラ固イ
決心ヲ持ツテ取敢ヘズ根本ノ政策ヲ決定シ
テ、今議會ニ提出シテ御協賛ヲ願フツテ、サ
ウシテ實行ヲ致シタイ、斯ウ云フノデ組閣
勿々カラ臨時應急ノ手段ト、根本的手段ト
合セテ考ヘマシテ、種々ノ努力ヲ致シマシ
タ、何分問題ガ重大デアリマス共ニ、研
究ニモ色々ノ手數ヲ要シマス、尙ホ又此ノ
問題ヲ議會ニ御協賛ヲ願フニ付テ政府ニ於
テモ確タル確信ヲ以テ提案ヲ致サナケレバ
ナラナイコトデアリマスシ、事ガ頗ル重大
デアリマスルカラ、一面ニ於テハ非常ニ急
ガナケレバナラスシ、一面ニ於テハ非常ニ慎
重ナ審議ヲ、擬ラサナケレバナラナイシ、旁
々デ段々ニ遅レテ參リマシタコトハ政府ニ
於テモ頗ル遺憾トシテ居ル所デアリマスル
ガ、兎ニ角出來ルダケ急ギマシテ、此ノ成案
ヲ得テ漸ク本月五日ニ提案ヲ致シマシタヤ
ウナ次第デアリマス、ソレ故ニ政府ハ本法
案ガ是非此ノ議會ニ御協賛ヲ願フツテ、再ビ

今年ノヤウナ石炭飢饉トカ電力ノ飢饉トカ
ト云フヤウナゴトヲ惹起サナイヤウニ致シ
タイト云フコトヲ吳々モ考ヘマシテ、サウ
シテ會期切迫ノ折柄恐縮デアリマスレド
モ、是非トモ御審議ヲ願ヒマシテ御協賛ヲ
得タイト云フ固イ決心ヲ持ツテ本法案ヲ提
出致シマシタノデアリマスルカラ、議員諸
君ニ於ケレマシテモ、洵ニ御迷惑ト存ジ
マスガ、國家ノ重大ナル一ツノ法案デゴザ
イマスカラ、其ノ御積リヲ以テ御審議ヲ願
ヒマシタナラバ仕合セトスル所デアリマス
○山本委員 勿論サウ云フ御決心ガナクテ
ハナラスト存ジマス、ソコデ私ハ質問ニ入
リマスガ、本案ハ此ノ石炭ノ需給ノ圓滑ト、
炭價ノ適正ヲ圖ル爲ニ制定セラレタコトハ
明ニナツテ居リマスルガ、併シ内容ヲ拜見
シマス、實際ハ日本石炭株式會社法案ト
言ツテ宜シイト思ヒマス、ソコデ私ハ議論
ヨリハ要點ニ付テ政府ノ明確ナル御所信ヲ
御伺スルコトニ進メテ行クノデアリマスル
ガ、大體二ツノ點デアラウト思ヒマス、今マ
デハ増産出來ナカツタガ、此ノ法律ヲ制定
スルコトニ依ツテ、直チニ十五年度ニ於テ
五百五十萬噸ノ増産ガ内地デ出來ルカドウ
カ、是ガ一ツ、ソレカラ之ニ依ツテ配給ガ
非常ニ不圓滑ダツタモノガ、圓滿ニ行ハレ
ルノデアアルカドウカ、ソレカラ公正ナル適
正價格ガ出來テ是ガ維持セラレルカドウ
カ、一般物價トハ別ニ離レテ、石炭ノミガ
低物價政策デ抑ヘテ、而モソレガ適正價格
デ行クカドウカ、大體此ノ三ツデアラウト
私ハ思フ、後ハ石炭會社ノ運営ニ關スルコ
トニ付テ伺ヒタイト存ジマス、之ニ付テハ
前申ス通り本會議ニ於テ商相及ビ各關係カ
ラ隨分詳シイ御答辯ガアリマシタガ、要ス

ルニヤルノダ、是デ増産ガ出來ルノダト云
フダケデアツテ、ドウ云フ譯デサウナルノ
ダト云フコトハドウモ明瞭致シマセヌ、尤
モソレニ付テハ詳細ハ委員會デト云フ御斷
リノ下ニ御答辯ガアツタ、故ニ私ハソレ等
ノ點ニ付テ順次具體的ニ伺ヒタイト思ヒマ
ス、先ツ増産ガ出來ルカドウカト云フコト
デアリマスガ、世間ニハ是デハ増産ガ出來
ナイ、減産ニ一部ナリハシナイカト云フ相
當ノ意見モアリマス、先ツ五百五十萬噸ヲ
石炭會社案ニ依ツテ増産ガ出來ルト云フコ
トハ、昨日燃料局長官カラモ伺ツタノデア
ルガ、ソレハ五百五十萬噸必要デアアルカラ
出シタト云フノデアハナクテ、具體的ニ炭山
ノ設備ヲ調べタ所ガ、ソレダケ國內デ増産
出來ルト云フコトガ分ツタカラ、此ノ五百
五十萬噸ヲ出シタト云フ話デアツタ、併シ
是ハ私ハ兩方デアラウト思フ、企畫院總裁
ハ物動計畫ノ應數ヲ斯ウ云フ所デハ表明出
來スト仰シヤツタガ、昨年ハ祕密會デ青木
總裁カラ御發表ガアリマシタ、ケレドモ、
是ハソレダケ欲シイト云フ發表デアリマシ
テ、ソレダケ生産ガ出來ルト云フ御發表デ
ナカツタコトハ一年ヤツテ見テ分リマシタ、
ソレデ私ハ具體的ニ御伺シタイノハ、臨時
措置法ニ依ツテ單價ヲ起算セシメタノデア
リマスガ、其ノ結果物價問題トシテハ多少
ノ效果ハアツタデアリマセウガ、増産計畫
トシテハドウデアツタカ、他ノ機會ニモ二
三回伺ツタノデアリマスガ、少シモ要領ヲ
得ナイノデアリマス、アト今月一杯デ昭和
十四年度ハ終ルノデアリマスガ、此ノ方法
ニ依ツテ石炭ガ減ツタノカ殖ヘタノカ、内
譯ヲシテ見ルト、昭和系ノヤウナ石炭ハ相
當減産ニナツタト云フコトハ、是ハ新聞ニ

モ相當シク書イテ居リマス、是ハドウデアルカ、又之ニ反シテ其ノ他ノ石炭ハ相當殖ヘテ居ル、即チ全然制裁ヲ受ケナイ其ノ他ノ石炭ハ相當ノ殖ヘテ居ルト云フコトノ色々ナ文書ガ來テ居リマスガ、是ハ實際ドウナツテ居リマスカ、是ハ事務當局ノ方デ宜シイカラ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○藤原國務大臣 此ノ増産ガ出來ルト云フコトハ度々申上ゲテ置キマシタガ、一部ノ世間デハ是デハ増産ガ出來ナイデアラウト云フ反對論モアリマスルコトヲ耳ニ致シテ居リマスガ、政府ニ於キマシテハ、増産獎勵金トカ或ハ助成金トカ云フヤウナ色々ナ手段ヲ盡シテ増産ヲ獎勵スルモノデアリマスカラ、單ニ増産ガ出來ル、斯ウ云フコトヲ申上ゲルノデハナクシテ、斯ウ云フ手段ヲ盡スカラ、増産ガ出來ルノデアル、斯ウ云フノデアリマス、就キマシテハ其ノ數字ヤ詳細ノコトニ付キマシテハ燃料局長官ヨリ申上ゲルコトニ致シタイト存ジマス

○東政府委員 只今山本サシノ御質問ノ中ニ最近ハ昭和系ノ大キナ山ハ多ク減産ニナツテ居ルノデハナイカ、サウシテ増加シテ居ルノハ小サナ「アウツサイダー」ノ山ノ方ガ主トシテ増産ニナツテ居ルノデハナイカ、斯ウ云フ御質問デゴザイマシタガ、差上ゲマシタ資料ノ中ニ昭和十一年十二年ノ分ハ數字ヲ擧ゲテ居リマスガ、之ヲ御覽戴キマスト、十一年ニ比ベマシテ十二年ハヤハリ大キナ山ノ方ガ餘計増産ニナツテ居リマス、最近ニ於キマシテハ此ノ資材ノ値上リトカ、坑道ノ掘進等ガ之ニ伴ハナカツタヤウナ事情ガアリマシテ、二三年前程増産ガ順調ニ參ツテ居リマセスコトハ事實デゴザイマス、

併シナガラ十四年度モ十三年度ニ比ベマスト、相當増産ニナツテ居リマス、其ノ増産モ大體、ヤハリ大キナ山モ小サナ山モ、山ニ依リマシテハ色々ノ事情デ若干減産ニナツテ居ルモノモ個々ニ見マストアリマスガ、決シテ昭和系ガ全部減産ニナツテ居ルト云フヤウナコトハゴザイマセス、ヤハリ大キナ方ガ増産ニナリマセネバ全體トシテノ増産ハ望ミ得ナイノデアリマス、昭和系ノ方モ相當増産ハ致シテ居リマス

○山本委員 統計ト申シテモ十四年度ノヲ伺ヒタイノデアリマス、發表ヲ抑ヘテ以後ドウ云フ影響ヲ及ボシタカト云フコトヲ伺ヒタイ、十一年度ヨリハ殖エテ居ルケレドモ、昨年ノ一月ノ祕密會ニ物動計畫ニ付テ御述べニナツタ所ニ依ルト、其ノ他モサウデアリマスガ石炭ノ物動計畫トシテハ豫定ドコロデナイ、豫定ニ比ベタラ増産ハ非常ナ少額デス、是ハ祕密事項デアリマスカラ此處デ私モ數字ハ申シマセスガ、是ハ新聞ニモ書イテアリマス、私ハ一々商工省以外デ統計ハ取レマセヌカラ、新聞ヤ色々ナ文書ヨリ仕方ガナイノデアリマスガ、ソレニ依リマスルト、所謂上等ノ炭ハ百万噸近クモ減産シテ居ル、サウシテ其ノ他ノ小サイ山ノ惡イ方ノ炭ガソレ以上殖エテ居ツテ、差引スレバ少シハ殖エテ居リマスガ、五千何百万噸ト云フコトニ比ベルト、先ヅ同ジコトデアアル、良イ炭ハ減ツテ居ルト云フコトデアリマスガ、多少デモ殖エテ居ルト言ハレマシタカラ、統計ヲ何カノ方法デ今年ノヲ伺ヒタイ、其ノ前ノコトハ伺ハナクテモ承知シテ居リマス、ソレデ私ハ殖エタノダト仰シヤレバソレヲ信ジテ議論致シマスガ、殖エタニシテモ極メテ僅カデアラウト

思フ、増産ナント云フモノデハゴザイマセス、計畫カラ申セバ減産デアリマス、要スルニ刻下ノ需要ニ應ジ切レナイト云フコトダケハ事實デアツテ、ソレニ鑑ミテ斯ウ云フ案ヲ御出シニナツタノデスカラソレハ宜シイ、サウ見テ宜シイダラウト思フ、ソコデ此ノ今度ノ増産計畫デハ、粗惡炭ヲ抑ヘテ、「カローリ」ガ少ナケレバ殖數ガ殖エテモナンニモナラヌカラ、良イ炭ヲ殖スト云フ御説明デアリマス、是ハ贊成デアリマス、粗惡炭モ、殊ニ最近ニ出テ居ル粗惡炭ナドヲ澤山出スト云フコトハ増産ニナリマセヌカラ、ソレデ宜シイトシテ、諸テ粗惡炭ト云フモノモ相當ニアルノデアリマスガ、此ノ粗惡炭ヲ抑ヘテ、サウシテ増産ニスルト云フコトニナルト、良イ方ノ炭ヲ新坑道ヲ開イテヤラナケレバナラヌト云フコトニナリマスルガ、是ハ實ハドウモ粗惡炭ガ相當多イノデアリマス、大體本年ニ限リマセスガ、昨今ノ統計デ、政府ガ抑ヘナケレバナラヌト思ハレル粗惡炭ハ何噸位アルノデアリマセウカ

○東政府委員 最近石炭ノ品質ガ落チテ參リマシタコトハ、是ハ事實デゴザイマス、其ノ原因ト致シマシテハ、先ヅ資材努力等ノ不足ノ爲ニ選炭ノ設備等ガ十分ニ行カナイ、隨テ選炭ガ嚴密ニ行ハレナイト云フヤウナ事情ノ爲ニ、稍、品質ガ全體トシテ落チタト云フコトハ、是ハ今日非常ニ無理ナ増産ヲサセテ居リマスノニ對シテ資材努力等ノ供給ガ十分デナイノデアリマスカラ、或ル程度已ムヲ得ナイト考ヘテ居リマス、モウ一ツヨク世間デ言ハレテ居リマスコトハ、「ボタ」山ヲ買ツテ「ボタ」ヲ混合スル、其ノ爲ニ著シク石炭ノ品質ガ落チテ居ルモノガアルト云フコトヲ言ハレテ居リマス、是ハサウ云フ事實モアルト云フコトヲ私共聽イテ居リマス、事實ガアリマス、併シナガラ其ノ數量ハサウ著シク多量デハナイト思ツテ居リマス、隨テ選炭ガ十分デアリマス爲ノ品質ノ低下致シマシタ分ハ、是ハ量ニ致シマシテモ相當量アルト思ヒマスガ、ドレダケガ粗惡炭デドレダケガ粗惡炭デナイト云フコトハ、一寸ハツキリシタ調査モ困難デゴザイマスノデ、サウ云フ調査ハゴザイマセヌ

○山本委員 次ニ増産不可能デアリシ其ノ原因ハ、主トシテ資材ト勞務ノ供給不十分ニ依ルコトハ當局ガ認メラレテ居ル所デアリマス、ソコデ資材ト勞務ノ供給不十分ト云フコトハ是ハ事變中ノ色々原因ニ依リマシテ、獨リ石炭ニ限ラズ各種ノ鑛山、其ノ他工業全般ニ亘ツテノ問題デアリマス、原料ハアツテモ資材、勞務ノ不足ノ爲ニ生産ガ不十分デアルト云フコトハ、是ハ全般ノ工業ノ全部デアリマスガ、就中石炭ニ於テ然リデアリマス、其ノ資材、勞務ヲ完全ニシナケレバ、如何ニ獎勵ヲナサツテモ、八千三百六十萬圓才出シニナツテモ増産ガ出來ナイト云フコトハ、是ハ御認メニナツテ居ル所デアリマス、金デ出來ルコトデアリマセヌ、然ラバ資材、勞務ノ供給ニ付テ、陸海軍大臣ガ登壇セラレテ、軍部ノ方ハ多少融通シテモト云フコトヲ御シャツテ居ルガ、現在マデ出來ナイコトヲ明年——之ヲ實施スルノハ何月デアルカ知ラヌガ、マア會社ノ出來ルノハドウシテモ夏カラ秋デアリマセウ、商賣ヲ始メルノハ秋ニナルト決ツテ居ル、ソレガ今マデ出來ナイモノガ、ドウシテ勞務ト資材ノ供給ヲ御潤澤ニ

ナサルカ、之ニ付テノ御話ハマダ有ユル機會ニ承ツテ居ラヌノデアリマスカラ、此ノ際伺ツテ置キタイト存ジマス

○藤原國務大臣 此ノ勞務ノ方ニ付キマシテ、今マデ出來ナイモノヲ今日直チニ出來ルト云フ譯ハナイト云フヤウナ御尋デアリマシタガ、是ハ今日ノ石炭ノ増産ガ如何ニ國家ノ全般的ノ觀點ヨリ見テ必要デアルカト云フコトハ、政府ニ於テモ十分ニ諒解致サレテ居ルノデアリマス、政府ノ諸機關ガ學ツテドウシテモ之ニ力ヲ盡シテ行カウト云フヤウナコトニ相成ツタノデアリマス、詳シク其ノ具體的ニ此處デ申上ゲルコトヲ憚ルヤウナコトガ大分ゴザイマスカラ、一々此處デ具體的ニハ申セマセヌケレドモ、兎ニ角本法案ガ通過致シマシタラバ、直チニソレニ著手致シマシテ、其ノ實行ニ移ル積リデアリマス、只今御質問ノヤウニ、今年ノ夏ニナラナケレバソレガ出來ナイト云フヤウナコトニハ致サナイ積リデ居リマスカラ、其ノ點ヲ御諒承願ヒタイノデアリマス

○山本委員 資材ノコトハ……

○藤原國務大臣 資材モ亦同様ノ方針ヲ持チマシテ、兎ニ角優先的ニ配給ニ努メルト云フ決心デアリマス、勞務、資材ヲサウ云フ工合ニシテ配給ヲシテ、同時ニ勞務、資材ノミデハ増産ノ效果ガ上ラナイカラ、増産獎勵金トカ助成金トカ云フ金ノ方ノ援助モシテ、此ノ三ツノモノヲ合セテ増産ノ目的ヲ達シタイ、斯ウ云フノガ本案ノ骨子デアリマシテ、ソコニ最モ苦心ヲ凝シタ所デアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○山本委員 獎勵金ハ無論一應五圓出セバ、引合ハナイ所モ引合ヒマスカラ出マス

新坑道掘鑿モ、目違ヒノ所ハ無論效果ノナイモノモアリマセウ、併シ前申ス通りソレハ從タルモノデアツテ、二ツノ要素ガ缺ケテハイカヌ、政府全體ノ力デヤルト云フコトモ、ソレハ私共モ分ツテ居リマス、昨日實ハ厚生大臣ニ御尋ヲシタノデアリマスガ、厚生大臣ハ本會議ニ於キマシテ、勞務ノ供給ニ付テハ確信ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ御述ベニナツテ居リマスカラ、確信トハ如何ナル方法ナリヤハト云フ質問ニ對シテ、大體十箇條ノ方法ヲ御答辯ニナツタノデアリマス、ソレハ軍部ト協定シテ石炭ニ優先的ニ勞務ノ割當ヲスル、勞働募集從事員ヲ作ツテ專門ニヤラセル、紹介所ニ於テ石炭勞務ノ係ヲ増ス、ソレカラ半島ノ勞務者ヲ十分入レル、農業勞働者ノ農閑期ニ於ケル勞務ノ利用ヲ完全ニスル、國家の必要性ヲ勞務者ニ徹底セシメ、石炭ガナケレバ國家産業ニ影響ガ大キイト云フコトヲ徹底セシメ、精神的ニ訓練ヲスル、勞務者ノ能率増進且ツ優待方法ヲ講ズル、又健康ノ安全ニ付テモ考慮スル、通勤時刻等ノ短縮スル設備ヲスル、第十二移動奉仕ヲスル、大體此ノ十箇條ヲ御述ニナツタノデアリマスガ、私ハ此ノ十箇條ガ皆適當ノ要素デアルコトハ認メマスガ、之ニ付テ重要ナル點ヲ御尋致シマシタガ、満足ナル御答辯ガアリマセヌ、ソレヲ今御伺致シマス

一ツハ勞務ノ優先的供給ヲスルト云フ方針ハドウ云フ方法ニシテナサルカ分リマセヌ、例ヘバ軍需工場ガ十アル、其ノ軍需工場ニ居ル勞働者ヲ石炭山ヘヤルト云フヤウナコトハ、技師デモヤルノカドウ云フノカ知リマセヌガ、假ニ全部オヤリニナツテ、其ノアトノ補充ハ一體何處カラスルノカ、

又昨日モ申上ゲマシタガ、アナタノ方カラ御出シニナツタ鑛業法ノ改正案ニ依リマシテ、試掘權ヲ採掘權ニスルコトヲ獎勵セヌト増産ニナラス、仍デ、吾々ハ、相當反對ノ意見モ皆サシニ澤山アツタノデスケレドモ、ソレハ洵ニ立派ナ趣旨ダカラト云フノデ、根本主義ニハ大體賛成ヲシマシタ、其ノ結果トシテ——是ハ餘談デアリマスガ、私共ハ鑛業法ノ第四十條ヲ御適用ニナリ、又一昨年出シタ重要鑛物増産法ヲ御適用ニナレバ増産ガ出來ル、ソレヲ又此ノ鑛業法ヲ御改正ニナル、マア大體賛成スルコトニナリマシタガ、此ノ改正ニ依ツテ一万九千餘ノ試掘權ト云フモノガ、全部デハアリマセヌガ、非常ナ多數ガ採掘權ヲ得ルコトニナルシ、シナケレバ立法ノ趣旨ガ立チマセヌ、シテ見ルト、是ハ採掘權ニナツテ、採掘權ハ永久權デアルカラ、之ヲ何時マデモ抛ツテ置イタラ立法ノ趣旨ガ貫徹出來ヌ、ガカラ採掘サセナケレバナラス、單ニ試掘權ヲ採掘權ニスルト云フ御趣意デヤナイ、サウシテ見ルト、此ノ各種ノ鑛物ノ採掘ガ始マリ、採掘權ノ行使ガ始ツテ來タ時ニ、一體勞務者トカ資材ト云フモノヤ交通等ノ關係ハドウスルノダト云フコトガ大分是ハ議論ノアル所デアリマシタガ、其ノ同ジ管轄ノ鑛業ダケデモ是ハ大變デゴザイマス、又一一般ノ工業ニ付キマシテモ、是ハ中々澤山ナ勞務者ガ益、要ル、資材モ要ルノデス、ソレヲ、源泉ガナクテ優先ダト云フケレドモ、一體源泉ヲ何處ニ御置キニナツテ居ルノカト云フ質問ヲシタ、此ノ十箇條ノ中ニ源泉ト云フノガ半島勞働者ト季節勞働ノ利用ト云フコトデアリマス、季節勞働ノ利用ト云フコトハ、御承知カモ知レマセヌガ、

農業ニ從事シナ居ル者ヲ農閑期ニ炭山ヘ送り込ムト云フコトデアリマシテ、是ハヤツテ居リマス、事實相當ノ金ガ入ルダケニヤツテ居ルノデアリマス、ソレガ夏ニナツテ歸ツテ來ナイ爲ニ、農業勞働者ハ、女手デスラ二圓以上モ取ラレル、勞働者デアリマス、一段歩ノ水田ヲ耕スノニ三十圓モ勞務賃ガ掛ルト云フノデ、今年ハ恐ラク是ハ農業ノ委員會最モヒドイ議論ガアルト思ヒマスガ、之ガ徹底スルヤウニナルト——芋ヲ作ツタリ雜穀ヲ作ツタ方ガ倍以上ノ收入デス、現ニ北海道ニ於キマシテハ、芋ヲ作ルト百五十圓ノ收入ガ完全ニアリマス、然ルニ米ヲ作ルト、十五圓トシマシテモ、五俵トスレバ、七十五圓デ半分シカ取レナイ、サウ云フ狀態デアルノハ何カト言ヘバ、勞務者ノ不足デアリマス、之ヲ利用スルト云フコトハ非常ナ骨ガ折レルノデアリマスガ、不可能トハ申シマセヌ、此ノ二ツガ勞務者ノ源泉ニナツテ居ル、半島ノ勞務者ナント云フモノハ——昨日私ガ何人斯ウ云フ石炭勞務者ガ不足スルカト云フコトヲ尋ネタノニ對シテ、御答辯ハ直ダ出來ナイトカ仰シヤツタノダガ、今分レバ伺ヒタイノデアリマス、相當大キナ問題ダと思フ、北海道デ申スト、北海道ニハ二万五千人ノ勞務者ガ今不足デアリマス、之ヲ入レルコトニスレバ、融通ガ出來テ、何處モ彼モ樂ニナルガ、是ガナイ爲ニ非常ナ苦ミヲシテ居ル、ソレハ一體ドウスルカト云フコトニナツテ居ル、半島ノ勞務者デ之ヲ補給スルト云ツテモ、是ハ中々困難ダと思フ、故ニ山東苦力問題ヲ、ドウ云フ譯カセヌニ禁ゼラレテ居ルガ、此ノ山東苦力ノ問題ヲ御解決ニナツテ、石炭山ニ入レルノガ惡ケレバ、普通

ノ土木工事ニ之ヲ御使ヒニナツテ、或ハ日本全國ニ於テ飛行場ト云フヤウナモノハ、ソレハ莫大ナモノデアリマスガ、飛行場ハ唯高イ所ノ土ヲ取ツテ來テ低イ所ヘ均ララセテ敷キアリスカラ、誰デモ出來ル、斯ウ云フ所ヘ一万人デモ二万人デモ御利用ニナルト、其處ニ働イテ居ツタ日本人ノ立派ナ労働者ガ炭山ノ何處ヘデモ行クコトガ出來ルカラ、炭山ガイケナケレバソレデモ宜シ、斯ウ云フコトニ昨年ノ議會デハ話ガアツテ、相當進シタノニ、議會後ニ出來ナイト云フコトニナリマシタ、此ノ山東苦力ノ問題ハ、滿洲デモ非常ナ多數ヲ今要シテ居リマスルシ、防諜關係等デ困ル、斯ウ云フコトガ御理由ノヤウデアリマスガ、是ハ幾ラデモ防グコトガ出來ル、尙ホ考慮スルト云フコトヲ拓務大臣モ厚生大臣モ言ツテ居ラレマスガ、考慮デハ遅イノデス、コシナ大キナ事業ヲオヤリナルナラバ、山東苦力ヲ相當ノ條件付デ、一年ナラ一年デ必ズ還ス、責任ヲ以テ連レテ來タ者ハ還スト云フコトデ、一箇所ニ纏メテ、丁度大連ノ福昌洋行ノヤウナ大キナ所ニ千人、五百人ヅツ纏メテ置イテ還セバ、私ハ少シモ害ガナイと思フ、之ヲオヤリニナラナイト、源泉ガナイ、源泉ノナイモノヲ幾ラオヤリニナツツテ、日本ノ國內デアツツヘ行ツタリコツツヘ行ツタリシテ居ルダケデ、必ズ過不足ガ出來ルニ決ツテ居ル、全體ガ不足ナノデアリマス、ソコデ大臣ニ御尋シタイノハ、優先デオヤリニナルト云ツテモ、其ノ缺陷ハ何處デ補フカ、又他ノ鑛業若クハ重要産業トノ關係ハドウナルカ、之ヲ御考慮ニナツテ優先取扱ヲナサラスト、却テ他ニ缺陷ガ生ズルガドウカ、之ヲ御伺致シマス

○藤原國務大臣 今日ノ狀態ニ於テ諸鑛山等ガ豫定ノ如ク開發セラルルヤウニ相成ツタ場合ニ於テハ非常ナ多數ノ労働者ヲ要スルガ、其ノ根本對策ハドウデアアルカト云フ御趣旨ノ御質問ト存ジマスガ、將來ニ互リマシテ、何年モ先ノ問題ニ相成リマス、是ハ又別ノ考ヲ持ツテ居リマスガ、石炭ノ増産ニ付キマシテハ、取敢ズ十五年度ニ其ノ目的ヲ達シナケレバナラナイノデアリマスカラ、十五年度ニ於テ他ノ産業ニ優先シテ勞務ノ配給ヲ受ケルト云フヤウナコトニナツテ、只今御指摘ニナリマシタヤウナ厚生大臣ノ方針ヲ決定シテ之ニ臨ンデ居リマスル譯デアリマシテ、政府ニ於テハ此ノ十五年度ノ増産ニ付テハ差支ナイ、斯ウ云フ積リデ居リマス、詳細ハ燃料局長官カラ御答ヲ申上ゲマス

○東政府委員 増産ニ付キマシテハ、御話ノ通り増産獎勵金、又坑道掘進助成金等ノ外、資材ト勞力ノ供給ト云フコトガ最も必要デアアルコトハ申スマデモナイノデゴザイマス、資材ノ配給ニ付キマシテハ、從來ト雖モ炭礦ニ對スル資材ノ供給ハ相當重點ヲ置イテ配給ヲ致シテ居ツタ譯デアリマスガ、併シナガラ從來ハ其ノ重點主義ガ徹底シテ居ナカツタト云フコトハ之ヲ認メザルヲ得ナイと思ヒマス、隨テ十五年度ニ於キマシテハ、此ノ石炭優先主義ト云フコトヲ徹底シテヤリマスコトニ、既ニ閣議デモ決定ニナリマシタシ、又物動計畫ノ設定ニ當リマシテモ、其ノ主義ヲ徹底シテ、初メカラ炭礦ニ對スル資材ノ供給ヲ物動計畫ノ中ニ織込シテ行クノデアリマスカラ、其ノ供給ハ「パーセント」ト云フ譯ニハ參ラヌカモ知レマセヌガ、相當從來ヨリハ確保出來ルモ

ノト私共期待ヲ致シテ居リマス、ソレカラ勞働力ニ付キマシテモ、内地ノ労働者ノ配給ニ付キマシテハ、其ノ資材ノ配給ニ伴ヒマシテ勞務計畫ガ樹立サレルノデアリマスカラ、無論他ノ産業モ悉ク非常ナ苦境ニ陥レルト云フヤウナコトガアツテハイカヌノデアリマス。ケレドモ、資材ノ配給ニ伴ツテ資材モ優先配給ヲスルト云フ計畫ニナツテ居リマス、ソレカラ尙ホ内地ノ六百萬觔増産ノ爲ニ現在ノ労働者ヨリハ、更ニ相當増加シナケレバナラト云フ見解ニナツテ居リマス、之ヲ如何ニ補給スルカト云フノハ相當困難ナ問題デゴザイマス、併シナガラ之ニ付キマシテハ既ニ昨年ノ十月以來相當數ノ半島人労働者ヲ入レルト云フ方針ガ決定致シマシテ、其ノ内最近マデニ既ニ若干入ツテ來テ居リマス、其ノ餘ノモノモ漸次入ツテ來ルモノト期待致シテ居リマス、之ニ依ツテ相當數ガ補給サレマス、尙ホ又今後必要ガアリマスレバ、更ニ是以上半島人ヲ入レルコトニ付テモ相談ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、サウ云フ色々ナ方法ニ依リマシテ、石炭業ニ對スル資材及ビ勞力ノ配給ニ徹底シテ優先主義ヲ採ツテ之ヲ確保シテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○山本委員 サウ云フ御調ガアツテ、全體ノ勞務動員ノ計畫ガ完全ニ行ツテ居レバ安心致シマスガ、餘程御注意ニナリマセヌト、私ノ質問ノ中ニ述ベタ懸念ノヤウナコトガ起リマスカラ、又他ノ工業ナドノ方デ問題ガ起ラヌヤウニ願ヒタイ、ソレカラ又鑛業法改正ニ付テハ先ノコトデアアルカト云フ御話デアアルガ、無論十五年ニ此ノ方ハ餘リ來マセヌガ、唯ハ一年限りノモノデアハナリマセヌカラ御參考ニ申上ゲタノデス、ソ

コデ山東苦力ノコトハ一向觸レラヌシ、厚生大臣モドウモ餘リ身ヲ入レラヌガ、昨今聞ク所ニ依ルト、構太ニハ石炭増産ニ山東苦力ヲ入レルヤウニ決ツタト云フ話ガアリマスガ、是モ御承知ナラバ伺ヒタイ、是ハドウシテモ半島人ダケデハイケナイ、半島人ノ代議士モ居リマスカラ、言葉ハ慎マナケレバナリマセヌガ、半島人ト山東苦力ト何レガ利益ナリヤ否ヤ、是ハ餘程研究ノ必要ガアル、半島人ガ惡イト云フノデアアリマセヌ、日本ノ労働者ヲ補給スルノハ明年バカリデハアリマセヌ、將來ノ日本ノ勞務計畫トシテ、半島人ヲ非常ニ澤山コチラヘ連レテ來テ、ソレガ停滯スルト云フコトガ全般的ニ見テドウナルカト云フコトハ餘程御研究ニナラヌトイカヌ、唯目前ノ石炭問題バカリデハアリマセヌカラ餘程御研究ヲ要スルト申上ゲナケレバナラナイ、山東苦力ノコトハアトデ御回答願ヒタイ、ソコデ勞務計畫ニ付テモウツ大事ナコトハ、能率ガ非常ニ減退シタト云フコトト、移動性ノ強イト云フコトデアリマス、是ハ昨日モ伺ツタガ、要領ヲ得ナイデスガ、移動ヲ防止スル方法ニ付テハ厚生省ノ御意見デハ私共分リマセヌ、百「パーセント」ノ移動デアリマス、聞ク所ニ依レバ二十五萬人ガ二十五萬人ノ移動ガアルト云フコトデアリマス、果シテドノ位アルカ分ツタラ御示ヲ願ヒタイガ、此ノ移動ト云フコトガ又能率ヲ非常ニ減退シテ居ル、之ヲ防ガナイト増産ガ出來ナイ、數バカリ殖ヤシテモイカナイ、ソコデ移動ヲ防グ方法トシテハ許可制度ニスルカ、手帳制度ニシテ抑ヘルカデアアルガ、許可制度ニスルト却テ強制的ニナツテ「サボタージュ」スルグラウト云フ見

方ガアリマス、又手帳制度デハ中々手續ガ面倒ダ、是ハ方法ハドウ云フ方法デモ宜シイガ、ドウシテモ已ムヲ得ナイ者、例ヘバ家族ノ都合トカ、餘程ノ何カ——サウ喧シク言ハナクテモ宜シイガ、或ル程度ノ事情ノアル者ダケハ轉出ヲ許スガ、單ニ給料ノ増加デ引張り合フト云フコトダケハオ止メニナラヌトイカヌ、今度ノ制度ニ於テモヤハリ相當ノ問題ガアル、ソレハ小サナ炭山ニ値違ヒノ金ヲオヤリニナツテ收入ガ殖エル譯デアリマスカラ、一日ニ一圓ヤソコラ高ク雇ツテモ引合フ、現在デモ非常ナ奪合ヒデアリマス、是ハ「ブローカー」ガアツテ、ヒドイコトヲ言ツテ購シテ連レテ來ルノデアリマスガ、之ヲ防グ方法ヲ御考ヘニナラヌト、折角オヤリニナツテモ徒勞ニ歸シハセヌカト思フ、之ニ付テノ大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイ、モウ一ツ、是ハ厚生大臣ニ御話シタケレドモ、唯聽イテ置クト云フダケノコトデアリマシタガ、是ハ私ハ相當良イ方法デアラウト思フカラ、商工大臣ニ御話スルノデアリマスガ、勞働者ノ成績ニ應ジテ獎勵ノ制度ヲ設ケルト云フコトデアリマス、各炭山ニ付テ獎勵金ヲ出シテ獎勵ハ致シテ居リマスガ、少シバカリ賞與ヲ與ヘルト云フ位デハ駄目デアルカラ、勸業債券式ノ抽籤ヲサセル、其ノ抽籤ハ金ヲ出シテヤル富籤デハナクテ、勞務ヲ完全ニ執行シタ者ニ一本ノ抽籤權利ヲ與ヘル、例ヘバ一月ノ間豫定ノ三百匁ヲ完全ニ掘ツタ者ニ一本ノ抽籤權利ヲ與ヘル、之ヲ月々與ヘルト云フコトニシテ、其ノ當選ノ最高額ヲ五百圓トカ千圓ト云フコトニシマスルト、少シ位工合ガ悪クテモサボラス、又健康保險等デ色色ノ弊害ガアリマスガ、サウ云フコトモ段

段防グコトガ出來テ、勞務者ノ收入モ殖エルシ、又増産モ出來ル、是ハ富籤デモ何デモナイノデアリマスカラ、其ノ經費ヲ政府ト營業者ト半々トシテヤリマシテ、健康保險法ト同ジ組織ニシテヤレバ是ハ非常ニ能率増進ニナルト思フガ、商工省ノ御意見ハドウデアルカ、是等ノ點ヲ併セテ御伺シマス

○藤原國務大臣 勞務者ノ移動ガ頻繁デ政府ノ今ヤツテ居ル位デハ其ノ效果ハナイデハナイカト云フコトニ付キマシテノ御意見、竝ニ勞務者ヲ獎勵スル爲ノ御提案ニナリマシタ御意見、何レモ御尤モナ御意見ト存ジマス、右様ノコトニ付キマシテハ、厚生省トモ能ク協議ヲ致シマシテ、研究ヲ遂ゲ、實行ニ移スコトノ出來ルモノデアリマシタラ、實行致シテ參リタイト思ヒマス、尙ホ又山東苦力ノコトハ、是亦調査研究ノコトト致シマシテ、今日此ノ席上ニ於テ御答ヲ申上ゲルコトハ出來ナイヤウナ事情ニアリマスコトヲ御諒承願ヒタイ

○櫻井委員長 一寸大臣ニ伺ヒマスガ、ソレハ何方機密ニ屬スルト云フ意味ニ於テ御答ガ出來ナイノデアリマスガ、ソレナラバ他ノ機會ニ於テ御答ヲ願ヘル筈カト思ヒマスガ……

○藤原國務大臣 機密ニ屬スルト云フ意味デハナクシテ、マダ政府ノ協議ガ熟シテ居リマセヌシ、又樺太ニ於テサウ云フコトヲ實行シテ居ルカドウカト云フヤウナコトモ能ク承知シテ居リマセヌシ、サウ云フ意味デアリマス

○櫻井委員長 一寸勞務ノ問題ハ徹底致シマセヌガ、モウ少シ徹底スルヤウニ御答ヲ願ヒタイノデス、半島ノ勞務者ヲ入レルト

云フコトガ、足ラナイダケ無制限ニ出來ルノデアルカドウカ、私ノ信ズル所ニ依ルト、半島ニモ勞務者ガ足ラナイ筈デアリマス、今ノ御答辯デハ半島ニ大變御期待ニナツテ居ルヤウダガ、半島ノ方デモ足ラナイト、其ノ御期待ガ外レルコトニナル、隨テ山東勞務ノ問題モ、モウ少シ徹底的ニ御把握ニナラヌト、勞務ノ問題ハ徹底シマセヌト思ヒマスカラ、厚生大臣ニ御協議ノ必要ガアレバ、速ニ御協議ノ上、徹底シタ御答辯ヲ願ヒタイト存ジマス

○東政府委員 先程私ガ申上ゲマシタ勞務者ノ不足ノ數字及ビ半島人勞働者ノ移入ノ豫定ノ數字等ハ公表シナイコトニナツテ居ルサウデゴザイマスカラ、速記録カラハ抹消スルヤウニ御取計ヒヲ願ヒタイト存ジマス

○櫻井委員長 ソレデハ燃料局長官ノ御要求ノヤウニ數字ノ點ダケハ速記カラ抹消致サセマス、ソレカラ新聞記者各位ニ於カレマシテモ、ドウカアノ數字ダケハ御披キヲ願ヒタイト思ヒマス

○山本委員 勞務ノ問題ニ付テハ私ハ時間ガアレバモウ少シ御話ヲシタイノデスケレドモ、先ヅ此ノ程度ニ致シテ置キマスガ、只今委員長カラ御話ガアツタヤウニ當局ニ於カレテハ唯半島人々々々トばかり仰シヤラナイデウ少シモ、山東苦力ノコトヲ急速ニ御研究ニナラヌト、必ズ來年ノ議會ヲ待タズシテ行當リマスカラ、是ハ相當重ク御取扱ニナラヌト御困リニナルト云フコトヲ御警告申上ゲテ置キマス

ノカ、是ハ炭ノ善惡如何ヲ問ハズ平均ニオヤリニナルデアラウト思ヒマス、其ノ邊ノコトヲ極ク簡單ニ御答願ヒマス

次ニ平時ニ復シマス石炭ガ過剩ニナルト云フコトハ、是ハ想像ニ難カラヌコトデアル、殊ニ今日ノヤウナ滿洲支那關係ニ於テ連絡ガ圓滿ニナツタ時ニ於テハ、如何ニ工業ガ盛シニナラウトモ必ズ石炭過剩ガ來ルダラウト思ハレマス、ソレハ事變前ノ日本ノ石炭界ヲ御覽ニナルト直グ分リマス、減産ノ申合セラシテ、ソレデモ配當ガ出來ナイデ居ツタ、今ハ宜シイ、今ハソナコトヲ言ツテ居ル時期デナイカラ何事ヲ措イテモ多ク採ラネバナラス、是ハ宜シイガ、會社ヲ作ツテ政府モ出資ヲシテ、サウシテ平時ニ復シテ從來ノヤウナコトニナツタ時ニ對スル、何カ對策ヲ御持ニナツテ居レバ是ハ參考ニ伺ツテ置キタイ

ソレカラモウ一ツ纏メテ御尋シマスガ、今回ノ増産計畫ハ國內ダケノ五百五十萬匁デアリマス、是ハ無論商工省ノ御計畫デアルカラ當然デアリマス、所ガ外地ニ於テモ相當石炭ガ出マスカラ、是モ無論滿洲其ノ他ヲ睨合セテノコトト存ジマスケレドモ、滿洲ハ外地デハナイノデアリマスルカラ參考ニスルダケデアツテ、外地トシテ一番増産ノ可能ナノハ樺太デアリマス、昨日モ樺太長官ニモ聽イテ見マシタ、是ハ長官ニ聽イテモ國策ニ付テハ聽ク譯ニ行カヌカラ計畫ダケヲ聽イタノデアリマスガ、樺太ノ増産ト云フモノト、今回ノ増産トハドウ云フ關係ガアルカ、是ハ外國ニ行ク譯デモ何デモナイ、日本デ全部使フ炭デアリマスルカラ、實際ニ於テハ是コソ金ト勞務トヲ掛ケレバ、非常ニ是ハ増産力ノ旺盛ナ新シイ山デアリ

マス、是ハ一體ドウ云フ風ニ御考ヘニナツテヤ
ラレタノデアルカ、何カ樺太ニ於テモ是ト同
ジヤウナ會社デモ作ツテオヤリニナルカ、他ノ
方法デオヤリニナルカ、是ハ商工省ノ御擔當
ノコトデハナイガ、日本ノ需要ヲ充タス爲
ノ案デアリマス、此ノ日本ノ増産ト配給ヲ
圓満ニスルト云フ案デアリマスカラ、之ニ
付テモ、一體ドウ云フ内閣ノ御方針デア
ルヲ伺ツテ置キタイト存ジマス

○藤原國務大臣 此ノ増産獎勵金ト竝ニ樺
太ノ出炭ニ付テハ、政府委員ヨリ詳シク申
上ゲタ方ガ適當デアラウト存ジマス、唯只
今御尋ニナリマシタ中ノ、今日ハ増産ヲ必
要トスル時デアルカラ、政府ノ計畫モ尤モ
デアアルヤウニ思フガ、若モ此ノ時局ガ平定
ニナツテ、石炭ガ過剰ヲ來スヤウナ時代ニ
ナツタ時ニハ此ノ計畫ハドウナルカ、サウ
云フコトニ付テ豫メ注意ヲ拂ツテ居ルカト
云フ意味ノ御尋ニ對シマシテハ、私ヨリ御答
ヲ申上ゲタ方ガ宜カラウト存ジマス、實ハ
此ノ法案ヲ作りマス時ニハ、産業界ハ御承
知ノ通りニ色々事情ノ爲ニ一盛一衰デア
リマシテ、其ノ事ハ山本君モ能ク御承知ノ
通りデアリマス、ソコデ今日此ノ統制案ヲ
作ルニ際シマシテハ、非常ナ石炭ノ窮乏ノ
時ト云フモノヲ目標トシテ作ツタノデア
リマスケレドモ、萬一ニ非常ナ不況ニナツ
テ石炭ガ過剰ヲ來シタ時ニハ、之ヲドウ處
置シタラ宜カラウト云フコトモ併セテ考
ヘマシテ、サウシテ缺乏ノ時ニモ便利ニシ
テ最モ適當ナ效果ヲ擧ゲルヤウニ、同時ニ
又是ガ不況ニナツタ時ニモ、此ノ會社ガ非
常ニ便利ニ、好都合ニ運用セラレルヤウニ、
兩方カラ考ヘマシテ此ノ案ヲ作りマシタ、
ソレニ付テ此ノ案ヲ作製スル時ニハ相當ニ

考慮ヲ拂ツタ積リデアリマス、即チ之ヲ説明
申上ゲレバ、若モ不況ナ時代ニナリマス、
石炭ガ過剰ニナリマスカラ、自由主義經濟
ノ時ニハ石炭ノ値段ガ非常ニ暴落ヲ來シテ、
各炭山モ非常ナル苦ミヲ受ケルト云フコト
ニナリマシテ、其ノ際ニハ中小炭山ノヤウ
ナ資力薄弱ナモノガ一番苦ミヲ受ケルコト
ハ、是ハ山本君ニ於テモ十分御承知ノ通り
デアリマス、故ニ斯ウ云フ會社ヲ拵ヘテ一
手ニ之ヲ買取ツテ、一手ニ販賣スルト云フ
コトニ致シテ置キマス、サウ云フ場合ニ
於テハ、此ノ會社ノ力ヲ以テ炭價ノ暴落ヲ
防グコトガ容易ニ出來マス、自由主義ニ之
ヲ放任シテ置ク時ヨリハ餘程便利ニナリ、
サウシテ中小炭山ニ對シテ非常ナ打撃ヲ與
ヘルト云フヤウナコトヲ救フ力ヲ持ツテ居
リマスカラ、例ヘバ減産スルト云フヤウナ
場合ニ於テモ、大イニ便宜ヲ持ツテ炭價ヲ
維持シテ、サウシテ又減産ヲシテ行クト云
フヤウナ活用ヲスル時ニモ、此ノ會社ハ非
常ニ有效ナ働キヲナスノデアリマシテ、サ
ウ云フコトモ十分ニ考慮シテ此ノ案ヲ作ツ
テ行キマシタカラ、能ク御考ヲ願ヘバ私共
ノ苦心ノ在ル所ハ御諒察下サルダラウト思
ヒマス

○東政府委員 樺太ノ石炭ノ増産ノ計畫ニ
付キマシテハ、昨日樺太廳長官カラ説明ガ
アツタ通りデアリマシテ、内地ノ石炭ノ供
給ノ確保ニ付キマシテハ、内地ノ増産ニ努
メルノミナラズ、同時ニ樺太、朝鮮、臺灣
等ノ外地及ビ滿洲北支ニ相當ノ期待ヲ掛ケ
テ居ルコトハ勿論デゴザイマス、ソレ等ノ
數字ニ付キマシテハ他ノ機會ニ詳細申上ゲ
ル折ガアラウカト存ジマス、五圓ノ増産獎
勵金ト云フノハ、是ハ實ハ適當リ四圓ニナ

ツテ居リマス、ソレハ特ニ理論上ノ根據ガ
アル譯デハゴザイマセヌ、唯増産獎勵金ト
申シマシテモ、餘リニ少額デハ獎勵ノ意味
ヲナサヌデアラウ、ソレカラ又是ガ餘リニ
多額ニナリマス場合ニハ非常ナ弊害ヲ伴フ
虞モアルト云フ所デ、大體四五圓ノ程度ガ
適當ナ所デハナイカト云フ見當デ抑ヘテア
ルノデス、別ニ理論的ナ根據ガアル譯デハ
ゴザイマセヌ

○山本委員 今ノ獎勵金ノコトハドウモ能
ク分リマセヌガ、他ニ質問者ガアリマスカ
ラ其ノ方ニ御願致シマス、ソレカラ價格ノ
維持ト適正價格ハ何時決メルカ、其ノ他價
格ノコトニ付テ大分反對ガアルヤウデアリ
マス、是ハ他ノ御質問ニナル方ガ大分御研
究ニナツテ居リマスカラ、是ハ私ハ申シマ
セヌ、ソレカラ昨日配給ノコトニ付テ鐵道
ト港灣、船舶等ノ交通ノコトヲ當局ノ政府
委員ニ御尋シマシタガ、是ハ非常ニ大事ナ
コトデアルニ拘ラズ洵ニ要領ヲ得マセヌ、
船ノ如キハ今近海航路デ四十萬噸ノ船腹ガ
不足シテ居リマス、之ニ付テモ御答ガナイ
シ、宜イ加減ナコトヲ言ツテ居ラレルガ、
是ハ遞信省ト餘程御相談ニナツテヤラスト
又各分ニナツテ行當リマス、今年ノヤウニ
他ノ行先ガ決ツテ居ルノヲ、電報ヲ打ツテ
態々廻サセタリシテ、行ツタ所ガ人夫賃ガ
七圓モ取ラレテ外ノ荷役ガ出來ナクナツテ
非常ニ迷惑ヲシマシタ、是ハ今年ハ仕方ガ
ナイガ、船舶ノコトハ餘程御研究ニナツテ
置カスト、是ハ物動計畫デモ大シタ損ヲシ
テ居ル、物動計畫デモ半分ヨリ船舶ノ建造
ガ出來テ居リマセヌ、昨年モ注意シタノデ
スケレドモ、大丈夫ダト云ツテ居リナガラ
出來マセヌ、鐵ガナイカラ出來マセヌ、ソ

レカラ鐵道ハ幾ラ金ヲ掛ケテモ急ニハ出來
マセヌガ、是等ノコトヲ注意シテ置キマス
最後ニ本質論ニ入ツテ、日本石炭株式會社
其ノモノニ付テ御尋ヲ致シタイト思フ、大
臣ノ御主張ニ依ルト、國策會社ニ對スル一
般ノ非難ガアルカラ、之ヲ考慮シテ、今
度ハ民間ノ有能デアツテ德望ガアリ人格ノ
正シキ人ヲ頼ンデ經營ヲシテ貰ツテ、政府
ハ唯監督監査スルダケデアルト云フコトデア
リマス、是ハ當然サウナケレバナラスコト
デアリマシテ、其ノ點ハ宜シイノデアリマ
ス、無論社長ヲ天降リノ人ニシナイト云フ
コトデアラウ、又重役モ一人モ現役官吏カ
ラハ入レスト云フコトデアラウ、所ガ此ノ
非難ヲ受容レテ日發會社モ増田君ヲ社長ニ
シテ、副社長ハ遞信省ノ次官デアリマシタ
ガ、實際ノ監督ハ電氣廳ガヤツテ居リマス、
官吏ガ役員——役員ナラ宜イガ、從業員、
社員ノ任免權マデ電氣廳ガ持ツテ居ルト云
フコトハ、是ハ公知ノ事實デアリマス、色
色ナコトハ殆ド電氣廳デ抑ヘラレテ非常ニ
困ツテ居ルノデアリマス、是ハ官憲ノ方デ
干涉シ過ギルト云フ方ノ例デアリマスガ、
折角社長ハ實業家ノ德望人格、有能ト云フ
コトニ當ツテ居ルカドウカ知ラスガ、兎ニ
角實業界ノ非常ナ經驗者ヲ社長ニシテモ斯
ウナルノデアリマス、ソレデ御伺シタイノ
ハ、官吏ノ現役ハ入レナイダラウト思フガ、
元官吏ヲシタ方デモ、是ハ幾ラ有能ナ方デ
モ重役若クハ首腦部ニ使ハヌノカ、サウシ
テ實業家バカリデヤラセルノカ、之ヲ伺ヒ
タイノデアリマス、官吏ヲヤツタカラ會社
ヘ入レテハイカスト云フコトハナイ、唯私
共ノ反對スルノハ、現役ノ官吏ガ在職中ニ
有ユル便宜ヲ圖リ組織ヲ作ツテ置イテ、其

處へボツト入ツテ行クノヲ天降リト謂フノ
デアリマシテ、是ガ非常ナ弊害ヲ流シテ來
タノデアリマスカラ、元官吏ヲシテモ、休
職中デ立派ナ者ナラ使ツテモ宜シイト思
フ、之ニ付テノ御方針ヲ伺ツタ上デ又伺ヒ
タト思ヒマス

○藤原國務大臣 只今日發會社ノ例ヲ御引
用ニナリマシテ、御説ヲ御述ニナリマシタ
ガ、是ハ本會議ニ於キマシテモ私カラ政府
ノ意ノアル所ヲ明瞭ニ申上ゲテ置イタト存
ジマスガ、只今モ多分サウデアラウト云フ
コトデ御話ガゴザイマシタ、其ノ通りデア
リマシテ、詰リ私ノ考ヲ率直ニ申上ゲレバ、
事業ノコトハ制度デナクシテ人ニアル、人
其ノ宜シキヲ得レバ成功ヲシ、人其ノ宜シ
キヲ得ザレバ成功シナイ、同ジ時ニ同ジ事
業ヲ幾人カノ人ガ經營致シマシテモ、甲ハ
成功シ乙ハ失敗スルト云フコトハ、是ハ山
本君モ能ク御承知ノ通りデアリマス、ソレ
故ニ是モ半官半民デアツテ、一ツノ國策ノ機
關トシテ成立ツ所ノ石炭會社デハゴザイマ
スケレドモ、事業デアルコトニハ間違ヒナ
イノデアリマス、ソレデサウ云フ國家的ノ
見地ニ立ツテノ重要ナル事業デアリマスカ
ラ、尙更此ノ人選ニ付テハ注意ヲシテ、過
ノナイヤウニ、政府ノ希望スルヤウニ之ヲ
運用スルト云フコトガ、政府ノ重大ナ責任
ト考ヘテ居ル、尙ホ私ガ此ノ案ヲ作リマシ
テ、茲ニ提案スルニ付テハ、私自身トシテ
モ多少産業上ノ經驗ヲ持ツテ居リマスカ
ラ、尙更其ノ責任ヲ痛感シテ居ルモノデア
リマス、故ニ此ノ人選ニ付キマシテハ、從
來議會其ノ他カラ色々非難ヲ受ケマシタヤ
ウナコトノナイヤウニ、之ヲ經營致シタイ、
即チ適當ナル人ヲ選ンデ社長ナリ重役ナリ

ヲ選任致シマシタ以上ハ、只今御指摘ニナリ
マシタヤウニ、細カイ社員ノ任免黜陟マデモ
監督スルトカ、ソレニ干涉スルト云フヤウナ
コトハ絕對ニ致シマセヌ、政府ハ唯重要ナル
鍵ヲ握ツテ居ル、是ハ國策會社デアツテ、國
家ノ爲ニ入用ナ働キヲシナケレバナラス重
大ナ任務ヲ帶ビテ居ル會社デアリマスカラ、
其ノ任務ニ反スルト云フヤウナコトノ起リ
マシタ場合トカ、其ノ事ノナイヤウニ重大
ナ鍵ダケハシツカリ握ツテ居リマシテ、ア
トノ細カイコトハ微ニ入り細ヲ穿ツテ内部
ニ干涉スルトカ監督スルト云フコトハ成ベ
ク避ケテ參リタイ、斯ウ云フ譯デアリマス、
ソレ故ニ今御指摘ニナリマシタ通りニ、總
テ實業界ニ經驗ノアル人ノミニシテ官吏ノ人
ハ一人モ入レナイカドウカ、サウ云フコト
ニ付キマシテハ、其ノ社長ノ眼鏡ニ依ツ
テ、是ナラバ相當ニ使ヘル人間デアルカラ
使フト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、或
ハ官吏ノ經驗ノアル人ヲ採用スルト云フヤ
ウナコトモ有リ得ルカト思ヒマス、絕對ニ
一人モ官吏ヲシタ者ハ入レナイト云フヤウ
コトヲ申上ゲルノハ少シ申上ゲ過ギルト存
ジマス、兎ニ角成ベク當議會ニ現ハレマシ
タ特殊會社ニ對スル御希望ヲ參酌シテ、此
ノ會社ノ實際ノ成績ノ擧ガリマサヤウニ、
私ガ自分デ是ナラバ理想的ニ經營ガ出來ル
ト思フヤウナ組織ニ致シテ、其ノ運用ニ付
テハ最モ力ヲ盡シテ參リタイ、斯ウ思ツテ
居リマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス

○山本委員 ソコデ此ノ二千五百万圓ノ出
資ヲナサルノデスカラ、五十万株ヲ政府ガ
持ツコトニナルガ、政府ノ株主ノ代表トシ
テ平重役デモ監査役デモ會社ヘ御入レニナ
ルノデアアルカドウカ、是ハ天降リトハ違ツ
テ唯ノ代表者トシテモ御入レニナルカドウ
カ、之ヲ御同致シマス

○藤原國務大臣 大體ノ會社ノ構成ニ付キ
マシテハ、先刻申上ゲタヤウナ趣旨デゴザ
イマスノデ、政府ハ此ノ株ヲ代表シテ或
ハ監査役ヲ入レルトカ、或ハ平ノ取締役ヲ
入レルトカ云フヤウナコトハアルカモ知レ
マセヌガ、併シ成ベク此ノ會社ノ事業ニ付
テ干涉ガマシイコトハ致サナイヤウニシテ、
先ヅ私ノ考——是ハ大藏省トノ關係モアリ
マスカラ、確言ヲ致シテ此處デ御答ヲスル
ト云フコトハ困難デアリマスガ、私ノ希望
ヲ申シマスレバ、政府ハ單ニ監査役ヲ出シ
テ、此ノ仕事ノ監査ヲスルト云フ位ナ程度
ニ致シテ置キタイト存ジマス、若シ取締役
ヲ出スト致シマシテモ、サウ云フ趣旨ニ依
ツテ、唯大體ノ或行ヲ監査シ、注意シテ居
ルト云フ位ナ程度デ、積極的ニ色々干涉ガ
マシイコトハ致サナイ積リデアリマス

○山本委員 只今ノコトハ相當ハ解釋上
重要ト思ヒマスカラ、大藏當局即チ政府ニ
於テ御協議ノ上デ、此ノ委員會開會中ニ一
ツ御決メヲ願ヒタイト思ヒマス、サウデナ
イト一寸此ノ解釋ガ立タスコトニナルト思
ヒマス

次ニ之ニ關聯シテ居リマスガ、ドウモ此
ノ會社ノ法文ニハ現ハレテ居リマセヌガ、要
綱ヲ見マス、成程一手販賣ニ付テノ中央
機關ト、地方ニ今マデヤツテ居ツタ配給機
關トノ關係ガ色々詳シク書イテアリマシテ、
之ニ付テハ少シ詳シク御伺シナイト理解出
來マセヌガ、是ハ他ノ方ニ譲ツテ、ドウカ
他ノ方カラ詳シクアレニ付テ御究メヲ願ヒ
タイト思ヒマス、ソレニ付テアレヲ調べテ
見マスルト、大體中央ニ會社ガアツテ、支

店ヲ設ケナイヤウデアリマスカラ、先ヅ主
腦部ハ東京ニアツテ之ヲ監督シ、連絡ヲシ、
統制ヲシテ行ク、此ノ首腦部デアリマスル
ガ、果シテ首ガチヤント其處ニアツテ、腦
髓ガアツテ、神經ノアル身體ノヤウニ行ク
カドウカ、胴體ダケ東京ニアツテ、一番働
ク所ノ手足ガ日本全國ニ散在シテ居ルト云
フヤウナコトニナリハシナイカ、首ヤ腦ガ
十分働イテ初メテ手足ガ能ク活動シマス
ガ、此ノ組織ガ完全ニ行ツテ居リマセヌ
ト、中央ノ胴體バカリデ、手足足ヲ動カス
コトガ出來ヌト云フヤウナコトニナツテ、
痺ガ切レタヤウナ麻痺狀態ニナルヤウナコ
トニナル虞ガナイカト云フコトヲ、要綱ヲ見
テ居ルト感ゼラレルノデアリマス、ソレト
云フノハ、是ハ大臣ノ御答辯ニハサウナツ
テ居ラスノデアリマスガ、私共ニ陳情ニ來
タリ——尤モ陳情者ノ意見ヲ聽クニシテナ
ドハ居リマセヌ、又陳情デナク相當ナ大キ
ナ經營者ニ面會ヲシタ機會ニ、陳情デナイ
話ヲシタ其ノ意見ヲ聽イテ見マシテモ、喜
ンデ居ラス人ガ多イムデアリマス、大臣ノ
御話デアルト、昭和系ノヤウナ大キナ良イ炭
ヲ持ツテ居ル所ハ一寸損ガ行クダラウ、又
サウデナイ方ハ獎勵金ヲ貰ツテ平準價格ニ
ナルカラ少シ割ガ良イト思フ、斯ウ云フ御
話デアリマシタガ、其ノ割ノ良イト云フ方
ガ一番反對ナンド、先刻價格ノ所デ言ハウ
ト思ツタガ、ソレヲ拋棄シタノデスカラ「ア
ウトサイダー」ナンテ云フ變ナ言葉ヲ使ツ
テ居リマスガ、其ノ他ノ炭礦ガ大臣御示シ
ノ如クニ割ガ良イト云フナラバ、ドウモ商人
デアツテ四圓、五圓ト云フ割ガ良イモノヲ
アア云フヒドイ反對ヲスルコトハナイ、理
由ハ今澤山アナタ方ノ方ヘモ陳情シテ居ル

一六二

ト思フガ、質問演説デハ隨分澤山陳情ノ趣
ガアリマシタ、唯賃金ノ連絡ヲ取レヌト云
フヤウナコト、是ハ御尤モデアリマス、是
ハ政府デ何トカシテヤルト言ツテ居ルガ、
ソナコトバカリデナシニ、蔭ニ何カアル
ト私ハ睨ンデ居ル、アノ反對スル本當ノ眞
底ニハアノ外ニ、是ハ言ヘマセヌガ何カア
ルト私ハ見デ居ル、ソレハヤハリ企業家ノ
心理ニ觸レテ居ルコトダラウト思ヒマス、
國家ノ爲ニ商賣ヲシテ居ル人ハアリマセ
ス、ソレガ國家ノ爲ニハナルケレドモ、大
體事業ヲスルノニ國家ヲ先ニシテ儲ケハド
ウデモ宜イト云フヤウナ者ハアリマセヌカ
ラ、先ヅ普通ノ事業ハ儲ケルコトヲ頭ニ置
イテ、國家ノ爲ヲ思ハヌ、其ノ點ニ私ハ何
カ觸レテ居ルノデハナイカト思フ、何レニ
致シマシテモ、「アウトサイド」ト云フ方
面、互助會デモ是ハ反對ヲシテエライ勢ヒ
デアリマス、ソコデサウ云フ所ニ原因ガア
ルトスルト、是ハ法律デアリマスカラ、ヤ
ツタ所デ不満足ナ服從ナシデアリマス、昭
和系統トカ云フ風ナモノモ相當澤山知ツ
タ人ガ居リマスガ、アナタ方ニハ何ト仰シ
ヤツテ居ルカ分ラヌケレドモ、事實ハ不満足
ト言ツテ居リマス、ソナコトヲシテ貴
ハヌ方ガ宜イト言ツテ居リマス、併シソレ
ハ大臣モ述べテ居ラレ、困ツテ居ル、是
ハ仕方ガナイ、國家ノ大問題ダカラ多迷
惑デモヤル、斯ウ言ツテ居ラレ、其ノ事
ハ宜シイノデアリマスガ、迷惑ナ人ガ國家
ノ爲ダカラト云ツテ泣ク、附イテ來タト
云フコトニナルト、ドウモ思フヤウニ手足
ト云フモノガ頭ノ指揮ニ應ズルカドウカト
云フコトガ心配ナンデス、應ジナイト私ハ
豫斷ハシマセヌガ、ドウモサウ云フ傾キガ

ヨクアルノデアリマス、之ニ付テハ政府ハ
ドノ位ノ程度マデ諒解ヲ得テ、マア泣キ／＼
デモ働イテ呉レルト云フ御見透シガ付イテ
居ルカドウカ、此ノ團體ト手足ノ關係ヲ一
ツ伺ヒタイ

○藤原國務大臣 御尤モナ御尋デアリマス
カラ、少シ長クナリマスケレドモ、其ノ成
行ヲ申上ゲテ置キタイト存ジマス、元々
ハ山本君モ多分御承知ノコトト存ジマス
ガ、此ノ石炭統制案ト申シマスルモノハ、
中央物價委員會ニ於キマシテ、特別委員會
ヲ組織致シマシテ、長イ間調査研究ヲ致シ
テ、サウシテ立案セラレタモノデアリマス、
其ノ立案致シマシテ最初ノ案ニ於キマシテ
ハ、中間ノ販賣機關ノヤウナモノハ一切之
ヲナクシテ、サウシテ今回提出致シマシタ
石炭配給會社ヲシテ全部一貫シテ買取及ビ
販賣ヲ、從來ノ販賣機構ノ如何ニ拘ラズ、
ソレハ一切無視シテ此ノ會社デ行ク、全部
自分デ以テ直營スル、斯ウ云フ案ヲ中央物
價委員會ニ於テ立案セラレタノデアリマス、
ソレヲ當業者ニ示シマシテ、其ノ意見ヲ質
シ、サウシテ段々ニ折衝シテ協議ヲシテ見
マシタ所ガ、ヤハリサウ云フ急激ナル變化
ヲ致スト云フコトハ、統制經濟上ニ於テハ
已ムヲ得ナイ、理想的カラ言フト已ムヲ得
ナイコトデアツテ、又ソレガ望マシイコト
デアルカモ知レマセヌケレドモ、實際ノ運
用上、サウ急激ナ大變化ヲ與ヘルト云フコ
トハ如何デアラウカト云フ考モアリマスシ、
又當業者ノ希望モアリマシテ、サウシテ結
局先ヅ今日ノ際ニ於テハ當業者ノ希望ヲ容
レテ、今日ノ販賣機構ヲ活用スルコトニシ
タ方ガ宜カラウト云フヤウナ研究ノ結果、
其ノ方ガ當業者モ満足デアリシ、又政府ニ

於テモ其ノ方ガ餘リ急激ナル變化ヲ與ヘナ
イデ、徐々ニ統制ノ實ヲ舉ゲルノニ宜カラ
ウト云フヤウナコトデ、段々ニ折衝ヲシテ、
双方ノ希望ヲ容レテ此ノ案ガ出來上ツタノ
デアリマス、其ノ點ニ鑑ミマシテ、政府ニ
於テハ、今御引用ニナリマシタ昭和系ノ會
社ナドハ、サウ云フコトヲ希望シテ居ラス
ト云フ御見込ノヤウデアリマシタ、無論歎
迎ハシテ居ラスカモ知レマセヌガ、此ノ案
ニ對シテ大イナル反對ハナイ筈ト思ツテ、
此ノ位ノ所デ行クヨリ外先ヅ仕方ガナイ、
昭和系ノ企業者ナドハ、サウ云フ風ニ考ヘ
テ居ルト存ジテ居リマス、其ノ外ニ又中小
炭山ニ於キマシテ反對ノアリマスコトハ、
是モ政府ニ於テ能ク承知致シテ居リマス、
是ハ又別ノ意味ノ反對ガ主タル原因デハナ
イカト存ジテ居リマスガ、今ノ販賣機構ノ
問題モ、或ハ喜バレナイカモ知レマセヌガ、
其ノ販賣機構ヨリハ、他ニマダ反對ノ理由
ガアルノデハナイカトモ思ツテ居リマス、
ソレハマア詳細ヲ私カラ申上ゲナイデモ御
諒察ヲ得ラレカト存ジテ居リマスカラ此
ノ位ノ程度ニ致シテ置キマス

○山本委員 モウ一ツ是ハ重大ナコトヲ伺
ヒマスガ、世間ニハ半官半民ノ會社ト云フ
モノハ、ドウモ寄合世帯デ面白クナイカラ、
イツソ是ハ民營專門ニシタ方ガ宜イデハナ
イカト云フ、相當有力者カラノ意見モ出デ
居リマスシ、聲ガ高イノデアリマスガ、其
ノ可否ハ別ト致シマシテモ、ナゼ半官ニシ
タカト云フコトノ説明ヲ伺ツテ見マスルト、
監督上ヤハリ——是ハ伺ツテカラノ方ガ順
序デスガ、簡便ノ爲ニ私ノ方カラ申サレタ
コトヲ繰返シテ言フノデスガ、中ヘ入ツテ
居ツタ方ガ監督上完全ニ監督ガ出來ルカラ

ト云フコトト、是ハ長官ノ他ノ機會ノ御説
明デアツタガ、今一ツハ、斯ウ云フコトヲ
強制スルノニ全部民間ノ資本ニ任セルノハ
氣ノ毒ダ、是ハ儲カラヌ會社デアルカラ……
ソナコトデアアラウト思ヒマスガ、會社ニ
重役、監査役ヲ入レルカドウカト云フコト
スラモ御決リニナツテ居ラスガ、場合ニ
依ツテハ平重役、平監査役デ置カウト云フ
コトデアリマス、ソレハ後デ聽キマスガ、
サウスルト此ノ法律案ヲ見マスルト、監理
官ト云フモノヲ今日ハ置イテ居ルダケデア
リマス、無論他日置クト云フコトニ御答辯
ニナツテモ、取締役、監査役ガ口ヲ出シテ
搔キ廻スノデナイト云フコトハ當然デア
ル、サウシテ見ルト、政府ガ監理官ヲ置イテ何
時デモ嚴重ナ監査モ出來マスシ、誤レバ一
萬圓ト云フ大キナ罰金モ付イテ居ル、是ガ
中ニ入ツテ半分ノ株主ニナツテ居ラナケレ
バ監督ガ出來スト云フコトハアルマイト私
ハ思フ、政府ハ日發ニ對スル如キ干涉ヲシ
ハイカヌガ、嚴重ナル監督ヲスルト云フ御
説明デアリマスカラ、嚴重ニ監査ヲスレバ
今ノヤウナコトハ私ハ履行出來ルダラウト
思フ、其ノ點カラ二千五百萬圓ノ株ヲ持ツ
ト云フコトハ、ドウモ是ハ私ハ諒解出來ナ
イガ、之ニ付テ諒解出來ルヤウナ御説明ガ
アツタラ伺ヒタイ、今一ツノ理由ハ、大臣
ガ御述べニナツタノデハナイガ、損ノ行ク
會社ヲ無理ニ之ヲ抑ヘ付ケテ、國家ノ爲ニ
ヤラシタ上ニ損ヲサセルコトハ氣ノ毒デア
ルカラ、是ハ政府モ半分背負フベキモノダ
ト云フコトガ根柢トスレバ、是モ一ツ御説
明願ヒタイ

○藤原國務大臣 御質問ニ對シテハ二ツノ
方面カラ御答ヲ申上ゲマス、第一ニハ、此

ノ會社ハ半バ國家的ノ使命ヲ果ス會社デア
リマシテ、營利ヲ目的トスル會社デアリマ
セス、結局ニ於テ大シテ儲カル會社デナイ
カラ、澤山ノ資本ヲ當業者ニ負擔セシムル
ト云フコトハ、當業者トシテモ餘リ喜バナ
イデアラウト云フ推察ヲ以テ、半バ國家デ
實施シテ、サウシテ利益ノナイ時ナドハ國
家ガ其ノ配當ヲ遠慮シテ、民間ノ株ニ配當
セシムルトカ、或ハ配當ヲ國家ガ保證スル
コトニシタ方ガ宜カラウ、サウ云フ意味カ
ラ半分ハ國家デ持つト云フコトニナツタノ
デアリマスガ、他ノ一ツノ重大ナル理由ハ、
ソレノミデナイ、其ノ重大ナル理由ハ只今
山本君モ御指摘ニナリマシタル通りニ、平
時ニ於テハ唯監査ヲシ監督スルニ止メテ、
重箱ノ隅ヲ楊子デホヅクルヤウナコトハ政
府ハ致サナイ、此ノ會社ニ全部任セテ、重
大ナ鍵ダケハ握ツテ居ルノデアレケレドモ、
併シ是ハ山本君モ十分御經驗モオアリニナ
ルシ、御洞察ノコトト思ヒマスガ、此ノ事業
界ノコトハ、ドウ云フ變化ガアツテ、ドウ
云フ事情ニ依ツテドウ云フ思ヒ掛ケナイ事
ガ勃發シナイトモ限リマセス、此ノ國家ニ
重大ナル機關デアリマスカラ、萬一平時ノ
場合ニ於テ政府ノ豫想セザルヤウナ重大ナ
ル事件ガ出來タリ致シマシタ時ニハ、政府
ハ半分ノ株式ヲ持つテ、政府ノ權力ヲ以テ、
重大ナル決心ノ下ニ總テヲ斷行スル、斯ウ
云フヤウナコトモ爲シ得ルヤウニ、陣容ヲ
整ヘテ置イタ方ガ宜カラウ、其ノ陣容ハ整
ヘテ居ルケレドモ、是ハ平時ハ其ノ陣容ヲ
運營スルト云フヤウナ考ヘナイノデアリマ
ス、斯ウ云フ國家的ノ大事業デアルカラ、
陣容ト云フモノ、即チ鍵ト云フノハソコニ
アル、重要ナル鍵ハ握ツテ居ル、ヤレバ何

デモ出來ルケレドモ、之ヲヤラナイデ此ノ
會社ニヤラセルト云フコトガ、此ノ案ノ生
レタ譯デアリマス

○山本委員 今相當重大ナル御答辯ニ接シ
マシタガ、此ノ委員會ニ於テ、他ノ陳情の
ノコトヲ別ニスルト、是ガ重點デアラウト
思ヒマスカラ御尋スルノデアリマス、今ノ
商工大臣ノヤウナ極ク實行のナ、平素産業
界ノ有ユル方面ヲ御承知ノ方ガ商工大臣ヲ
シテ居ラレル時ハ、ソレデ結構デアリマス
ガ、法律ハ永久ノモノデアリマスカラ、ド
ウモ失禮ダケレドモ、妙ナ商工大臣モ偶
出テ來マス、實ニ不適任極マル方モ出テ來
ルノデスガ、サウ云フ方ガ出テ來タ時ニ、
不況時ニ打突カルト大變デゴザイマス、ア
ナタハ自分デ信ジテヤラレルカラ率直ニ御
答辯ニナツタノデアリマスケレドモ、不況
時ニ政府ガ五十萬株ヲ振翳シ抑ヘ付ケテ、
國家ノ爲ニヤルト仰シヤル——ソレハ良イ
方ガヤレバ宜イノデスガ、少シ「エキセント
リック」ナ方ガ出テ來テ、之ヲ振翳サレタ
ナラバ、大變ナコトガ起ルノデスカラ、ソ
レデ立法ニ當ツテハ大變大事ナコトデアリ
マスカラ——併シ是ハ見方ニ依リマスカラ
議論ハ致シマセスガ、此ノ事ハ餘程御考慮
ニナツテオヤリニナラナケレバナラス、今ノ
所デハ、此ノ位ナ問答デハ——ヤハリ是ハ隨
分有力ナ石炭業者ガアリマスカラ、是等ノ
人ニ相當特權ヲ與ヘテ居ルカラ、ソレニ依
ツテ經營サシテ、監督ハソレハ株ヲ持タナ
クトモ出來マス、監督權ト云フモノハ亂暴
ニ使ツテハイケマセスガ、ソコマデ株ヲ監
督ナサラナクトモ、政府ノ株數デオヤリニナ
ラナイデモ、政府ノ監督權ヲ十分御持チニ
ナリマス、事實ハドンナコトデモ出來マ

ス、ソレヲ惡ク用ヒルトイケナイト云フコ
トハアリマスガ、今ノアナタノ御精神ノヤ
ウナコトデ監督權ヲ振廻サズニオヤリニナ
ルナラバ、國民ハ反對致シマセス、是ハ能
ク御檢討ナサルコトヲ希望致シマシテ、之
ニハ相當議議ガアルト云フコトヲ申上ゲテ
置キマス

ソコデ質問ヲ終ルニ付テ、先程申上ゲマ
シタ保留ニナツテ居リマスル勞務ノ關係ノ
中、山東苦力ノ問題ハ非常ニ急グモノデア
リマスカラ、ドウカ一ツ能ク御相談ヲ願ヒ
タイ、ソレカラ交通ニ關スルコトハ、大臣
ガ御都合ガ惡カワタノデスケレドモ、一寸
アア云フ御答辯位デハ駄目デゴザイマスカ
ラ、是ハ政府ニ於テ餘程關係ノ間デ交通ニ
對スル準備ヲ御進メニナラスト、來年ノ春
ノ雪ノ最中、所謂酷寒ノ交ニハ又私ハ起キ
ハセヌカト思ヒマスカラ、是モ十分ニ御研
究ヲ願ヒタイト思ヒマス、他ニ澤山アリマ
スガ、私はデ打切りマシテ、他日又時間
ガアリマシタラ御許シヲ願ヒマス

○宮澤委員 一寸議事進行デ——先程來他
ノ機會ニ於テ述ベルト云フコトガ澤山アリ
マス、殊ニ三年度、十四年度ノ内地ニ於
ケル石炭ノ產額ナドニ付キマシテモ、其ノ
數字ハ他ノ機會ニ於テ述ベルト云フヤウナ
コトデアリマスガ、此ノ石炭ノ日滿支ヲ通ズ
ル計畫、勿論内地外地等ヲ合セテノ相當細
カイ數字ヲ伺ハナケレバ此ノ審議ヲ進メル
ノニ私ハ非常ニ不便ダト思ヒマスカラ、其
ノ機會ヲ政府ニ於テ一ツ急イデ作ツテ戴キ
タイト思ヒマス

○櫻井委員長 是デ休憩シ、午後二時ヨリ
開會致シマス、午後ノ會議ニ於マシテハ、
適當ノ機會ニ鑛業法、砂鑛法並ニ有機合成

事業法ノ討論ニ入ルカモ知レナイト思ヒマ
スカラ御含置ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ニ
テ休憩致シマス

午後零時十三分休憩

午後二時二十三分開議

○櫻井委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、先
ヅ御諮リヲ致スコトガアリマス、理事松尾
三藏君ガ委員ヲ辭任セラレマシタノデ、理
事ノ補缺選舉ヲ行ハネバナリマセス、先例
ニ依リマシテ委員長ニ於テ指名致スニ御異
議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○櫻井委員長 御異議ナシト認メマス、仍
テ山田清君ヲ理事ニ指名致シマス

是ヨリ鑛業法中改正法律案、砂鑛法中改
正法律案ノ兩案ヲ議題トシテ討論ニ付シマ
ス、討論ハ通告順ニ依ツテ之ヲ許シマス——
澤田利吉君

○澤田委員 只今提案セラレマシタ鑛業法
及ビ砂鑛法ノ二案ニ對シマシテ、砂鑛法ハ
洵ニ實地ニ即シタ一般ニ適當ナル案トシテ
之ニハ全幅ノ賛意ヲ表シマス、唯鑛業法ニ對
シマシテハ、少シク修正ヲ致サントスルノ
デアリマス、今其ノ修正ノ箇所ヲ申上ゲマ
ス、附則ノ第十條本法施行ノ際現ニ存スル
試掘權ノ存續期間ハ「本法施行ノ日ヨリ四年
トス但シ石油ヲ目的トスル試掘權ニ付テハ
主務大臣已ムコトヲ得ザル事由アリト認ム
ルトキハ四年以内之ヲ延長スルコトヲ得」
本文ハ斯様ニナツテ居ルノデアリマス、而
シテ今其ノ修正セントスルノハ、「石油ヲ目
的トスル試掘權ニ付テハ」ト云フ字句ヲ削リ
マシテ、「事由アリト認ムルトキハ」ノ次ニ
「石油ヲ目的トスル試掘權ニ付テハ」四年以

内、石油以外ノ礦物ヲ目的トスル試掘權ニ付テハ、二年以内「ト云フ字句ヲ挿入、四年以内」ヲ削リマス、即チ直シマス「但シ主務大臣已ムコトヲ得ザル事由アリト認ムルトキハ石油ヲ目的トスル試掘權ニ付テハ四年以内、石油以外ノ礦物ヲ目的トスル試掘權ニ付テハ二年以内之ヲ延長スルコトヲ得」斯様ニ修正スルノデアリマシテ、此ノ修正ハ民政黨、政友會、時局同志會、第一議員俱樂部等ノ協議ニ依ツテ之ヲ決定シタ次第デアリマス、此ノ修正ヲナシタル理由ヲ簡單ニ申シマス、過般來質問應答ニ依ツテ既ニ此ノ必要ガ認メラレテ居リマス通リ、此度ノ法律ニ依ツテ新ニ試掘權ヲ願ヒ出ル者ニ對シマシテハ、別ニ其ノ必要ヲ認メマセヌケレドモ、現ニ試掘權ヲ有シテ居ル人々ハ、或者ハ身命ヲ賭シテ其ノ礦區ヲ發見シ、サウシテソレニ對シテ現ニ探鑛、試掘等ニ從事シテ居ルノデアリマスガ、時局柄或ハ資材ノ不足或ハ人的不足ニ依ツテ思フヤウニ出來ナイト云フ事情モアリマス、ソレカラ又礦區ノアル土地ハ、多クハ山間僻地、所謂深山幽谷デアツテ、一年ノ半バ以上ハ孰レモ雪ニ閉サレテ居ル所デアリマスカラ、容易ニ僅力ナ年限探鑛乃至試掘ヲ完全ニ行フコトハ出來ナイト云フ事情モアリマス、或ハ又既ニ優良ナル礦區ナリトシテ、ソレヲ以テ將來採掘ヲ爲スベキ準備ヲ爲シツツアルガ、突然此ノ法律ニ依ツテ今マデノ計畫ト云フモノヲ全ク破壊セラレルト云フコトニナリマス、是ハ容易ナラヌコトデアリマシテ、左様ナ點モ考慮ヲセンケレバナラスノデアリマス、其ノヤウナ點ヲ十分考慮シマシテ、現ニ試掘權ヲ有シテ居ル者ニ對シテ石油ト同一ナ意味ニ於テ主務大臣ガ

已ムヲ得ナイト云フ事由アリト認メル時ニハ、更ニ二年ノ延期ヲスルコトノ出來ルヤウニスルコトガ至當ナリト云フ考カラ、此ノ修正案ヲ提出シタ次第デアリマス
尙ホ更ニ此ノ法案ニ對シテ希望條件ヲ付シタイノデアリマシテ、今其ノ希望條件ヲ朗讀致シマス
一、政府ハ増産ニ必要ナル資材努力ノ配給ヲ完全ニシ、探鑛、採掘ニ萬遺憾ナキヲ期スベシ
二、政府ハ地質調査及ビ礦物調査ヲ一層效果のナラシムベシ
三、政府ハ重要礦物増産法ノ發動ニ依リ重要礦物ノ採鑛獎勵ヲ一層強化スベシ
四、礦業助長ニ關スル國策會社ヲシテ其ノ機能ヲ十分發揮セシムベシ
五、政府ハ豫備礦區及ビ保護礦區ノ取扱ニ付テハ特別ノ考慮ヲ加フベシ
以上五箇條ノ希望條件ヲ付ス次第デアリマス、此ノ點ニ對シマシテモ既ニ今マデノ質問應答ノ中ニ私共ノ希望條件ヲ付スベキ精神ヲ十分御諒承ノコトデアルト思ヒマス、以上動議ヲ提出致シマス

○櫻井委員長 只今澤田君ヨリ民政黨、政友會、時局同志會、第一議員俱樂部共同修正ノ御意見ガ出マシタ、之ニ對シテ政府ハ同意セラルルヤ否ヤ、此ノ場合其ノ點ヲ明ニセラレタイト思ヒマス——一寸澤田君ニ御尋フ致シマス、條文トシテ讀上ゲマス、是ト同様ノコトデアリマシタカドウカ御答ヲ願ヒタイ
修正案
第十條「本法施行ノ際現ニ存スル試掘權ノ存續期間ハ本法施行ノ日ヨリ四年トス但シ主務大臣已ムコトヲ得ザル事由アリト認

ムル時ハ石油ヲ目的トスル試掘權ニ付テハ四年以内、石油以外ノ礦物ヲ目的トスル試掘權ニ付テハ二年以内之ヲ延長スルコトヲ得」
條文トシテハ是デ宜シイノデアリマス
○澤田委員 宜シウゴザイマス
○加藤政府委員 修正案ニ對スル政府ノ所見ヲ此ノ際申述ベタイト存ジマス、只今ノ修正案ニ付キマシテハ、兩院ニ於キマシテ此ノ修正案通リ議決ニ相成リマスレバ、政府ハ之ヲ尊重シ、之ニ從フ考デアリマス
○櫻井委員長 條原義政君
○篠原委員 我ガ黨ヲ代表ラシマシテ意見ヲ申上ゲマス、只今澤田君カラ提出サレマシタ附則第十條ノ修正案ニハ贊成ヲ致シマス、其ノ餘ノ部分ニ付テノ政府提出案ニモ贊成ヲ致シマス
砂鑛法モ政府ノ提出案ニ贊成ヲ致シマス、尙ホ先程澤田君ノ申サレマシタ希望條件ハ、私等ノ黨トモ共同ノ提案デアリマスカラ、其ノ積リデ政府ニ於テハ特ニ善處セラレンコトヲ希望致シマス
○櫻井委員長 東條貞君
○東條委員 黨ヲ代表致シマシテ澤田君ノ修正意見ニ贊意ヲ表シマス、尙ホ修正以外ニ於キマシテハ兩案トモニ原案ノ通りニ贊成致シマス
又希望條件ニ付キマシテモ、政府ハ十分誠意ヲ以テ其ノ實現ヲ圖ルヤウニサレタイト云フコトヲ特ニ申添ヘテ贊成致シマス
○櫻井委員長 川俣君
○川俣委員 私ハ社會大衆黨ヲ代表致シマシテ砂鑛法ノ改正ニ付キマシテハ贊成ヲ表スルノデアリマス、隨テ贊成ノ理由ヲ述ベテ尙ホ希望ヲ付シテ贊成致スノデアリマス

ガ、時局ニ鑑ミラレマシテ砂金、砂鐵其ノ他ノ砂鑛法ノ今日マデノ缺陷ヲ是正スルニ至リマシタコトハ、其ノ方向ニ向ツテハ私共ハ贊成致シテ居ルノデゴザイマス、唯此ノ際注意シナケレバナラスコトハ今日ノ砂鑛法ノ改正ハ日本ノ土地ノ所有權トノ關係カラ考ヘテ見マスルト、非常ニ大キナ改正デアリマス、隨テ土地所有權並ニ地上權者、並ニ永小作權者、其ノ他ノ土地ノ使用權者トノ衝突ガ相當免レナイノデハナカラウカト考ヘルノデアリマス、今日時局ニ際シマシテ砂金其ノ他ノ採取ニ對シテ政府ガ全力ヲ擧ゲナケレバナラスト云フコトハ、十分私共ハ認メル所デアリマス、併シナガラ此ノ開發ガ國民經濟上利益ヲ爲スコトハ十分認識ヲ有スルノデゴザイマスルケレドモ、又其ノ弊害、即チ公益ヲ害スル點モ少クハナイノデアリマシテ、此ノ調和ヲ圖ルコトガ國益ノ上ニ非常ナ影響ヲ來スト考ヘマスノデ、此ノ調整ヲ十分念慮サレナケレバナリマセヌ、尙ホ單ニ砂鑛法改正ダケヲ以テマシテ、ソレヲ放任致シテ置キマスルナラバ、今日マデノ河川法トノ關係、土地所有權トノ關係、耕作權トノ關係、用水、治水、港灣等ノ公益ニ關係モ存スルノデアリマスカラ、礦業ニ開發ニ砂鑛ニ誠意アル所ノ人々ヲシテ開發セシムルト云フコトデアリマスルナラバ、私共ハ其ノ目的ヲ達シ得ラルト思ヒマスルケレドモ、單ニ權利ノミヲ有シテ居リマシテ其ノ開發ヲ爲サザル者ニ對シマシテハ鑛業法四十條ノ準用ノ規定モアルノデアリマスカラ、此ノ規定ヲ活用サレマシテ所期ノ目的ヲ達成サレンコトヲ希望致スノデアリマス

修正案ニ對シマシテハ遺憾
倍テ鑛業法ノ改正案ニ對シマシテハ遺憾

倍テ鑛業法ノ改正案ニ對シマシテハ遺憾

倍テ鑛業法ノ改正案ニ對シマシテハ遺憾

ナガラ原案ニ賛成シ、民政黨以下ノ修正案ノ部分ニ對シテハ反對ノ理由ヲ申述ベタイト思フノデアリマス、尙ホ政府ニ對シテ希望ト警告トヲ發シタイト思フノデアリマス、鑛業法改正ノ主眼ハ時局ノ重大性ニ鑑ミマシテ睡眠鑛區ノ開發ヲ急務トシ、近時漸ク試掘權、鑛區ノ獨占ノ弊害ガ現出致シテ居リマス今日、且ツ試掘權ヲ占有スルノミニシテ開發ノ目的ニ副ハザル弊害ヲ除去シ、鑛業法制定ノ本來ノ趣旨ニ基キマシテ採掘權ノ設定ヲ促シ、以テ地下資源ノ存在ヲ明ニスルト共ニ、鑛業資源開發ノ計畫ヲ具體化シ、以テ戰時國民經濟ノ上ニ寄與セントスルモノト私共ハ了承致シテ居ルノデアリマス、隨テ試掘權ノ試掘權タルノ建前ヲ以テ存續期間ヲ四年トセラレタモノト思料致スノデアリマス、時局ノ逼迫セル情勢ハ施業案ヲ有スル即チ具體的計畫内容ヲ有スル鑛業法上特ニ保護ニ厚ク行政指導監督ノ十分徹底可能ノ狀態ニアル所ノ採掘權ヲ以テ鑛業開發ヲ圖ルガ妥當ナル解釋デアルト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ鑛物開發ノ義務ヲ十分ニ認識シ明確ニ負フ所ノ採掘權者ニ依ツテ初メテ地下資源埋藏量ヲ明確ニスルコトガ出來ルと思フノデアリマシテ、其ノ必要ニ基イテ此ノ改正案ガ出サレタモノト私共ハ認識致シテ居ルノデアリマス、隨テ採掘權ニ對シマシテハ行政監督、指導、資材、勞力等ノ斡旋モ亦此ノ方向ヲ指示シテ最善ノ方途ニ出デラレノ用意ト準備ト計畫ヲ有スルモノト確信致シマシテ、不十分デアリマスルケレドモ、贊成セント致シタノデアリマスルケレドモ、不幸ニシテ本委員會ノ質疑ノ經過ヲ見マスルト、本鑛業法ノ沿革ヲ無視シ、諸外國ノ立法令

ニモ亦副ハザル便宜主義的修正ヲ致シタルコトハ私共非常ニ遺憾トスル所デアリマス、抑、試掘權ハ採掘權ト共ニ鑛業權ナル名稱ノ下ニ包括サレテ居リマスルケレドモ、是ハ儼然ト區別サルベキモノト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ日本ノ鑛業法ノ母體デアリマス所ノ諸外國ノ立法令ニ見マシテモ、寧ろ鑛業權ト云フ中ニハ試掘權ガ入ツテ居ラナイノデアリマシテ、採掘權ガ本來ノ鑛業權デアルト云フ風ニナツテ居ルノデアリマスルケレドモ、日本ノ鑛業法ハ是ハ唯一括致シテ居ルニ過ギマセヌ、名義ハ一括シテ居リマスルケレドモ、内容ハ儼然トシテ區別サレテ此ノ指導ニ當ラナケレバナラナイモノト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ日本ノ鑛業界ガ非常ニ遲レテ居リマシタガ爲ニ、鑛業開發ノ急速ナル實現ヲ希望致シタル餘リ、鑛業權ノ中ニ試掘權ヲ包括シテ居ルノデアリマシテ、寧ろ今其ノ弊害ガ出テ來テ居リマスル今日、明ニ之ヲ區別スルカ、或ハ統合シテ指導監督シナケレバナラス時期ニ相成ツテ居ルト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、然ルニ政府ハ唯一塊ノ鑛石ヲ望ミ、或ハ一握リノ石炭ヲ望ムノ餘リ、或ハ鑛ニシタイト位ノ砂金ヲ望ムノ餘リ、今日マデ試掘權者ノ行為ニ對シマシテ非常ニ放任サレテ居ツタコトハ私共ノ非常ニ遺憾ト致シテ居ル所デアリマス、今日急速ニ鑛業開發焦リマスル爲ニ、試掘權ヲ以テ便宜主義的ニ試掘行為ヲ爲ス者ハ不誠實ナル鑛業權者ト言ハネバナラヌト私共ハ思フノデアリマス、ナゼカナレバ民法ノ二百六條ノ土地所有權トノ關係カラ見マシテ又鑛業法四十八條ハ試掘權者ニ對シマシテハ鑛物ノ自由處分權ガアリマセヌ、採掘權者ノミガ鑛物

ノ自由處分權ガアリマスルケレドモ、試掘權者ニ取リマシテハ鑛物ハ未ダ自分ナモノデアリマセヌ、政府ノ許可ヲ得テ初メテ處分スルコトガ出來ルノデアリマシテ、其ノ點カラ見テモ試掘權者ガ採掘行為ヲ爲スト云フコトハ私共ハ本則デナク試掘權ノ濫用デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、又第三條ノマダ發掘サレナイ所ノ鑛物ハ國有デアリマス、サウ云フ建前カラ見マシテモ採掘權ヲ持ツテ初メテ土地所有權カラ獨立シテ、地下資源ヲ採掘スルト云フ所ノ責任ヲ背負ヒ、獨立性ヲ持ツモノデアリマシテ、試掘權者ハ未ダ其ノ權限ヲ持タザルモノト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、即チ私ニ説明サセマスルナラバ、試掘權ト採掘權トノ區別ハ私ハ斯ウ云フ風ニ解釋スル、地下ニ於ケル鑛物ノ存在狀態ヲ探索、調査スル權利、即チ採掘ノ前提條件トシテ、採掘ノ主タル目的トスル權利ヲ私ハ試掘權ト認メテ居ルノデアリマシテ、是ハ我法ノミガ鑛業權ノ一種ト取扱ツテ居ルノデアリマシテ、本來ノ鑛業權デナイト私共ハ考ヘル、採掘權ハ土地所有權カラ獨立致シマシテ、土地カラ鑛物ヲ分離、取得、處分スル權利デアリマシテ、採掘ヲ目的トシ、採掘ヲ手段トスル所ノ權利デアリマシテ、是ガ本來ノ鑛業權デアルト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、然ルニ政府ハ此ノ立法以來ノ精神ヲ兎角遵奉サレナイデ、又一般ノ民間業者ハ此ノ明カナル點ヲ無視致シ、殊ニ鑛業法全般ニ亙ル所ノ法規ニ付キマシテハ、業者ガ之ヲ遵奉スルノ精神ニ缺ケテ居ル點ガ多クアルと思フ、試掘ヲ爲ス場合ニ於キマシテハ、鑛内及ビ杭木ノ規定、或ハ勞務ノ管理ノ規定、或ハ鑛害賠償等ノ規定ニ付キマシテ責任ヲ逃ル

ル途ノアリマシタル爲ニ、採掘權ニ依ラズシテ試掘權ニ依ツテ鑛業ノヲ營ムコトハ、鑛業法本來カラ考ヘマシテ洵ニ私ハ不誠意ナル所ノ鑛業權者ト言ハザルヲ得ナト思フノデアリマス、然ルニ商工省ハ斯ル弊害ヲ認メテ居ラレナガラ、之ニ對シテ責任アル十分ナル監督ヲシナイデ、斯ル修正案ニ向ツテ同意サルガ如キコトハ、私ハ日本ノ鑛業界將來ノ爲ニ、斷ジテ默認スルコトガ出來ナイ點デアルト思フノデアリマス（ノ一ノ一）斯ル當局ニ其ノ責任ヲ負ハシテ置クト云フコトハ、吾々ノ默過スルコトノ出來ナイ點デアルト考ヘルノデアリマス、斯ル上カラ考ヘテ見マシテ、政府ハ眞ニ鑛業開發ノ目的ニ副フ所ノ鑛業權者ニ對シマシテ、其ノ指導監督ヲ十分致シ、本來ノ鑛業權者ニ對シマシテハ、十分ナル熱誠ト指導トヲ以テ開發ヲセシメナケレバナラヌト思フノデアリマシテ、今日弊害ガ生ジテ居リマス所ノ試掘權者ニ向ツテ、其ノ權利ヲ擁護スルガ如キハ本末顛倒致シテ居ルモノデアリマシテ、私ハ眞ノ鑛業開發ニアラズト云フ點ヲ指摘致シタイトデアリマス、尙ホ政府ニ一言致シタイトデアリマセレドモ、増産ニ付キマシテハ、今日ノ機構ニ於テ甚ダ不十分ナリト考ヘテ居ルノデアリマス、増産ニ付キマシテハ、物資ノ増産ニ不可缺ノ條件ノ存在スル如ク、此ノ鑛物ノ増産ニ付キマシテモ、亦不可缺ノ條件ガ存スルト思フノデアリマス、其ノ條件ト云フノハ何かト言ヒマスルナラバ、増産ノ人的要件ト致シマシテ現場技術員、或ハ指導員及ビ勞務者、二ト致シマシテ増産ノ物的要件ト致シマシテ資金、資材、此ノ資材ノ中ニハ土地ノ使用ヲ當然考ヘナケレバナリ

マセヌ、三ト致シマシテ監督ノ機能ノ擴大
デアリマス、四ト致シマシテ輸送管理ノ整
備デアリマス、是ガ一貫致シマシテ相關聯
シテ擴大致シマセヌケレバ、増産ノ目的ハ
達セラレナイト私ハ思フノデアリマス、殊
ニ現場技術員ニ對シマシテハ、各會社毎ニ
私共ガ見テ参リマスルニ必ズシモ優遇致シ
テ居リマセヌ、最近ノ狀態ニ於キマシテ
ハ、私ハ寧ろ他ノ商工業ヨリモ、坑内ニ於
ケル現場技術員ガ比較的薄遇ニアルノデハ
ナイカト云フコトヲ憂ヘラレルノデアリマ
ス、其ノ續々轉職ヲ見ルニ至ツテ居リマス
ル點カラ見マシテ、モット現場技術員ニ對
シマシテハ、相當ノ教育ト保護ト指導トヲ
要スルト思フノデアリマス、勞務關係ニ對
シマシテハ、時間ガアリマセヌカラ私ハ述
ベマセヌケレドモ、今日此ノ勞務需給調整
或ハ管理ヲモット高イ點カラ考ヘテ指導サ
レナケレバ、礦物ノ増産ト云フコトハ期シ
得ラレナイ、特ニ勞務ノ保有ニ付キマシテ
ハ、是ハ他ノ精密工業ト違ヒマシテ、長ク
其ノ山ニ居リ、而モ鑛山ト云フモノ、鑛石
ト云フモノヲ能ク理解シナケレバナライ
ノデアリマスカラ、足リナイカラト云フノ
デ人ヲ集メタ所デ、其ノ成績ガ舉ルモノデ
ハアリマセヌ、殊ニ金山、或ハ銅山ニ於キ
マシテモ、金屬山ニ於キマシテハ地質ノ關
係ガ種々區々デアリマス、其ノ中ニ入ツテ
右ニ探鑛スベキカ、左ニ探鑛スベキカ、或
ハ上ヘ登ルベキカ、下ヘ掘ルベキカ、ドツ
チヲ掘進スベキカ、ソレ等ノ點ニ付キマシ
テハ、寧ろ學校出ノ技術員ヨリモ山ニ長ク
働イテ居ル所ノ鑛夫ノ所謂勤ニ依ツテ脈ヲ
辿ツテ行クト云フコトノ方ガ、結果ガ宜シ
イ場合ガ往々アルノデアリマス、日本刀ノ

鑑定ニ付テモ、學者ガ見テ日本刀ノ鑑定ハ
出來ルモノデアリマセヌ、色合ト云ヒ匂
ヒト云ヒ、吾々ノ鑛山ノ仲間ニ於キマシテ
モ、鑛夫ハ鑛山ノ中ニ於テ色合ヲ見テ
色ハアリマスケレドモ、匂ヒハナイガ、此
ノ色合ガ出テ來タ、モウ脈ニ當ルデアラウ
ト云フヤウナコトハ是ハ鑛夫ヲ尊重シナイ
ス、斯ウ云フ勘ノ好イ鑛夫ヲ尊重シナイ
デ、單ナル一介ノ勞務者トシテ之ヲ取扱ヒ
マスナラバ、私ハ日本ノ金屬山ノ開發ト云
フコトハ出來ナクナルト云フコトヲ憂ヘテ
居ル者デアリマス、隨テ此ノ鑛夫ニ對シマ
シテ今マデト違ツタ觀念政府、違ツタ立場
カラ、新ニ日本ノ鑛夫ト云フモノヲ養成
シ、其ノ將來ヲ保障シナケレバナラス時期
ニ相成ツテ居ルト考ヘテ居ルノデアリマス、
資金ニ付キマシテハ他ノ委員カラ申サレタ
通り、私共ハ其ノ點ニ付テハ贊成致シタイ
ト思フノデアリマス、資材ニ付キマシテハ、
今澤田委員カラ述ベラレタ通り私共贊成致
シマス、土地ノ使用ニ付キマシテハ、往々
官有地或ハ御料林ニ付キマシテハ、兎角ノ
紛爭ガ絶エマセヌシ、又其ノ許可ニ對シテ
日數ヲ要スルヤウナ場合ガ往々アリマスコ
トハ、是ハ鑛業開發上ニ於ケル所ノ一大缺
點デモアリマスノデ、本當ニ鑛業ヲ開發セ
ントスル者ニ對シマシテハ、速ニ商工省ハ、
其ノ探掘權ヲ以テマシテ探掘出來ルヤウニ
斡旋サレナケレバナラスト思フノデアリマス、
特ニ私ハ此ノ際申述ベタイノハ、之ニ附屬致
シマシテ要塞地帶法ノ改正ヲ見テ居ルヤウデ
アリマス、重要ナル要塞地帶法ノ改正ヲシテ
マデモ、鑛業開發ヲ爲サントスル所ノ商工
省ノ意思ト云フモノハ、私ハ責任アル鑛業
者ニ鑛業開發セシメントスル所ノ意思ニ基

クモノト解釋シナケレバナラスト思フノデ
アリマス、隨テ試掘權ヲ四年ヲ更ニ二年延
長スルヤウナコトニ依ツテ其ノ場ヲ繕フヤ
ウナ鑛業權者ニ對シマシテハ、私ハ重要ナ
ル要塞地帶法ノ改正ヲナサレマシテモ、折
角ノ要塞地帶ヲ改正サレマシタ精神ニ悖ル
結果ニナルト思ヒマスノデ、此ノ要塞地帶
ニ付キマシテハ、探掘權者デナケレバ許可
シナイト云フヤウナ方針ニ出デラレナケレ
バナラスト考ヘテ居ルノデアリマス、本來
ノ探掘ニ至ルマデノ準備行為デアアル、假
ノ行為デアアル、此ノ假ノ行為ガ横行シテ居
カラ、ソレヲ法律的ニ認メルト云フ議論ハ
今日ハ炭ガ不足デアアルカラ闇取引モ已ムヲ
得ナイ、此ノ闇取引ヲ法律デ認メ、ト云フ
議論ト同ジガラウト思フ、建前ハ探掘權デ
アル、試掘權ハ今日便宜ノ儘默認シテ置イ
テ吳レト云フナラバ、私ハソレヲ認メテ宜
シイト思ヒマスケレドモ、之ヲ法令の權限
ヲ強クシナケレバナラスト云フコトニナリ
マスレバ、私ハ法律ノ根本精神ニ反スルト
思フ、ソレハ普通ノ工場デアリマスレバ、
勞働者ヲ三十人以上使ヘバ工場法ノ適用ヲ
受ケマス、併シナガラ試掘權者ハ何人使ツ
テモ勞働者ノ保護管理ノ責任ハ薄イ、探掘
權者ハ二人使ツテモ三人使ツテモ勞働者ノ
保護管理ノ義務規定ヲ負ハサレテ居ル、是
ハ探掘權者ダケニ責任ヲ負ハシテ居ルガ、
試掘權者ハハソレダケノ責任ヲ負ハシテ居
ナイ、斯ウ云フ點ヲ認識セズシテ、鑛業開
發ヲ爲スモノハ、本當ニ鑛業開發ニ對シテ
誠意アルモノト認メ難イ、斯ウ云フ立場カ
ラ商工省ハモウ一遍能ク認識サレナケレバ
ナラスト思フノデアリマシテ、特ニスル議
論ノアル際ニ於キマシテハ、私ハ四十條ヲ

十分活用サレマシテ、所期ノ目的ヲ達成サ
レンコトヲ希望致シマスケレドモ、政府ノ
軟弱洵ニ遺憾デアアル、修正案ニ對シテ反對
ノ意見ヲ申述ベタ次第デアリマス、即チ私
ハ原案贊成デアリマス
○櫻井委員長 小池四郎君
○小池委員 澤田君ノ修正ノ條項ニ贊成ヲ
致シマシテ、其ノ他ノ條項ニ付キマシテハ
勿論原案通り、砂鑛法ニ付キマシテモ贊成
致シマス
○櫻井委員長 長谷次郎君
○長谷委員 第一議員俱樂部ヲ代表シマシ
テ、鑛業法中改正法律案ノ澤田君ノ修正案
ニ對シマシテ贊成ノ意ヲ表シマス、同案ニ
對スル希望條項ニ付キマシテモ同ジク贊成
ノ意ヲ表シマス、私達ハ今回ノ鑛業法中改
正法律案ガ、來ラントスル所ノ全部ノ鑛產
物ニ對スル一ツノ統制ノ前提トシテ、急速
ナル地質調査ヲ目的トセラレタ基本法デア
ラウト解釋スルガ故ニ、一日モ早く之ガ目
的達成ヲ希望致ス者デアリマス、其ノ意味
合ニ於キマシテ、澤田君ノ御提出ノ修正案
ガ、正シク探掘權ヲ望マレル方々ガ、特
ニ地理的ニ見マシテ、北海道ノ如ク不當
ナ不便ヲ感ゼラレル此ノ際ニ於キマシ
テ、特定ノモノニダケハ商工省ノ裁斷ニ
依リマシテ、二年以内其ノ試掘權ヲ延長
セシムルコトヲ認メルト云フ風ナ案ハ、
此ノ方面ノ分野カラ見テ私達モ同意ヲ致シ
タ次第デアリマス、其ノ反面ニ於キマシテ、
此ノ修正案ノ蔭ニ隱レテ、俗ニ言フ所ノ試
掘權ヲ賣買スルコトノミヲ以テ目的トスル
權利「ブローカー」ト云フ風ナモノノ跋扈、
或ハ大キナ業者ニ於キマシテ、澤田ノ鑛區
ヲ所有スルモノガ、同ジク二年延長ノ名ニ

藉リマシテ、幾多ノ利益ヲ生ムヤウナ形ニナリマスカラ、私達ハ最モ正シイ所ノ分野ニ對シマシテ賛意ヲ表スルト同時ニ、又一方ニ於キマシテ蔓延ル所ノ權利「ブローカー」ニ對シマシテハ、嚴重ニ其ノ採掘許可ニ對シマシテ或ハ又延期申請ニ對シマシテノ許可ノ可否ヲ十分徹底シテ御取締願ヒタイト存ジマス（拍手）ソレカラ希望條項ノ中デ特ニ私達ハ、澤田君ノ御提案ノ第何項ニ該當シテ居リマシタカ、今日特殊會社ガ五ツ程出來上ルヤウナ形ニナツテ居リマスルガ、勿論今回ノ石炭販賣會社ヲモ含メテノ話デアリマス、所ガ吾々ノ手許ニアリマス所ノ產金振興株式會社並ニ帝國鑛業開發株式會社ト云フ風ナモノハ、出來タテノ時ハ素晴シク良カツタノデアリマスケレドモ、今日ハ完全ナル金融資本ノ「ブローカー」會社ニナツテ居ルデアリマス、此ノ點ヲ特ニ御含ミノ上、嚴重ナル是等ノ會社ニ對スル彈壓ヲ加ヘラレタ方ガ宜シイデアラウト考ヘテ居リマス、ソレカラ次ノ點デアリマスルガ、全ク今日ノ立場カラ見マシテ、仕事ニ携ツテ居ル人達ハ幾多ノ不便ヲ感ジテ居リマス、其ノ主要ナル點ハ資材デアリマス、此ノ資材ガ一ツデモ缺ケルコトガアリマシタナラバ、例ヘバ護謄靴一足缺ケタナラバ、鑛夫ハ鶴嘴ヲ持ツテ入レナイノデアリマス、或ハ又「カンテラ」一ツ足ラナカツタナラバ、配線ガ、或ハ電氣設備ガ、一切ノ物が完全デアリマシテモ仕事ニ從事スルコトガ出來ナイ、結局鑛山全體ノ器具ノ中一ツデモ資材ガ不足致シマシタナラバ、鑛山ヲ動かスコトガ出來ナイト云フ狀態ニナツテ居リマスガ故ニ、其ノ資材ヲ一貫的ニ配給スルヤウナ施設ヲ商工省十分監督ヲシ

テヤラナケレバナラスト思ヒマス、斯ウ云フコトヲ、希望條項ノ上ニ私達ノ意見トシテ附シテ置キタイト思ツテ居リマス、ソレカラ砂鑛ノ法律案ニ對シマシテハ私達賛意ヲ表スル次第デアリマス、其ノ砂鑛法案ニ於キマシテ、石炭ノ法案ノ所ニ留保サレテ居リマス私達ノ質問ヲ、今日一言ダケ附加ヘテ置キタイト思ヒマス、ソレハ今川侯君カラ法律ノ點ニ付キマシテ、一貫的ニ處置シテ貫ヒタイト云フコトヲ申述ベテ居リマス、所ガ内務省、文部省、厚生省或ハ農林省、斯様ナ各官廳ガ何レモ現在ノ此ノ砂鑛開發ニ對シテ掣肘ヲ加ヘルヤウナ立場ニ立ツテ居ルデアリマス、ソレデ各官廳ガ至急打合せラレマシテ、一ツノ申合セ事項等ヲオ作りニナルナリ致シマシテ、一箇所ニ申請書ヲ出シタナラバ、直チニ裁決出來ルヤウナ取扱ノ順序ニシテ置イデ貰ハスト、年限ガ段々短縮セラレ、一日モ早く開發ヲシナケレバナラス今日ノ立場カラ見マシタナラバ、出來ルダケ各官廳ノ摩擦ト云フモノヲ事前ニ排除スルヤウナ打合ヲシテ貰ヒタイノデアリマス、是ハ勿論法律ノ取扱ニ於テモ、事務ノ取扱ニ於テモ、一貫的ニ一箇所ニ於テ一書類ダケデ以テ完備スルヤウナ取扱ヲシテ置イデ貰ヒタイ、斯ウ云フコトヲ特ニ砂鑛法案ニ關スル限り希望ヲ附シテ私達ハ只今ノ意見ノ開陳ヲ終リマス

○櫻井委員長 討論ハ結局致シマシタ、直チニ採決ニ入リマスガ、其ノ順序ヲ申上ゲテ置キマス、先ヅ鑛業法中改正法律案ノ澤田利吉君提出ノ希望條件ヲ附シタル修正案、次ニ修正案ノ殘リノ原案、次ニ砂鑛法中改正法律案ノ採決ヲ致シマス——鑛業法中改正法律案中附則第十條ヲ修正スル澤田君案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔賛成者起立〕

○櫻井委員長 起立多數、仍テ修正案ハ多數ヲ以テ修正議決ニ決定致シマシタ——修正案ノ殘リノ原案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔總員起立〕

○櫻井委員長 起立總員、原案ノ通り可決致シマシタ

○櫻井委員長 砂鑛法中改正法律案ヲ議題ト致シマス、原案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔總員起立〕

○櫻井委員長 起立總員、仍テ本案ハ原案ノ通り可決致シマシタ

○加藤政府委員 只今澤田君ガ御朗讀ニテリマシタ希望條項ニ付キマシテハ、政府ハ之ヲ尊重致シマシテ、本法案實行ニ當リマシテ萬遺憾ナキヲ期シタイト存ジマス

○櫻井委員長 是ヨリ有機合成事業法案ヲ議題トシテ討論ニ附シマス、討論ハ通告順ニ依テ之ヲ許シマス——澤田利吉君

○澤田委員 有機合成事業法案ニ對シテ賛意ヲ表シマス、而シテ此ノ事業法ノ第一條ニ「本法ハ國防ノ整備及産業ノ發達ヲ期スル爲本邦ニ於ケル有機合成事業ノ確立ヲ圖ルコトヲ目的トス」ト述ベテアリマス通り、現在我ガ日本ノ有ユル方面カラ見テ、此ノ有機合成事業法ノ必要デアルコトハ何人モ之ヲ否ムモノハアリマセス、併シ實際ノ現狀ヲ見マスルト、之ニ依テ行ハントスル種々ナル仕事ハ未ダ其ノ多クハ試驗時代ヲ脱セヌノデ、其ノ發達ノ遲々タルヲ私ハ憾ミトスルモノデアリマス、唯單ニ法律バカリ出

來マシテモ此ノ目的ヲ達スルモノデハナクシテ、此ノ法律ガ出來ルト同時ニ、特ニ商工省トシテ非常ナル責任ヲ以テヤツテ貰ハナケレバナラス、同時ニ總デモノハ、殊ニ斯ノ如キモノハ其ノ人ヲ得シケレバナラ、又、所謂技術者ヲ得シケレバナラスト云フ點カラ見テ、今日果シテソレ等ノ方面ノ技術者養成ニ對シテ萬遺憾ナキカト言ヒマス、相當遺憾ノ點ガアルト思ヒマス、ソレカラ是等ノ仕事ヲ行ハントスレバ、直チニ必要デアアル電氣力、或ハ種々ナルソレニ要スル資材ト云フ點ニ對シテモ、ヤハリ相當ノ遺憾ノ點ガアルト思ヘルノデアリマスカラ、此ノ法律ノ出來ルト共ニ、ソレ等ノ點ニ對シテ一層ノ力ヲ入ラレンコトノ意見ヲ述ベテ、此ノ法案ニ賛成致シマス

○櫻井委員長 篠原義政君

○篠原委員 我黨ヲ代表シマシテ本案ニ賛成致シマス

○櫻井委員長 東條貞君

○東條委員 黨ヲ代表致シマシテ澤田君ノ動議ニ賛成致シマス

○櫻井委員長 加藤鐵造君

○加藤委員 私ハ社會大眾黨ヲ代表致シマシテ本案ニ賛成スルモノデアリマスルガ、ソレニ付キマシテ多少ノ希望意見ヲ附シテ置キタイト考ヘマス、有機合成事業ハ甚ダ遺憾ナガラマダ我國ニ於テハ幼稚デアリマス、其ノ製品ニシマシテモ、商品トシテ市場ニ出テ居ルモノハ一ツモナイ現狀デアリマシテ、此ノ點諸外國ニ比シテ非常ニ遅レテ居ルデアリマス、戰時下ニ於キマシテハ、物資ハ無限ニ要ルノデアリマス、然ルニ天然物資ニハ限度ガアリマス、其ノ不足ハ化學事業ノ發達ニ依ツテ補ツテ行カナケ

レバナラナイノデアリマス、然ルニ我國ノ此ノ事業ハ日暮レテ道遠シノ憾ガアルノデアリマシテ、此ノ事業ノ急速ナ發達ヲ促サナケレバ、新東亞建設ノ有終ノ美ヲ濟スコトガ出來ナイノデアリマス、即チ此ノ事業ノ急速ナ發達ハ、單ナル民間事業ノ助成ノミデハ到底望ミ得ナイノデアリマス、政府ハ宜シク此ノ際一大國立研究所ト云フヤウナモノヲ設置致シマシテ、此ノ事業ノ發達ヲ促シ、更ニ此ノ困難ナル事業ハ民間事業ノ經營ノミニ任シテ置クベキモノデハナク、國營ニ依ツテヤルベキデナйкаト思フノデアリマス、即チ大ナル資本ト優秀ナル技術ヲ以テ、先ヅ採算ヲ度外視シテ、是等ノ事業ニ依ツテ出來ル所ノ製品ノ商品化ヲ圖ルコトガ緊要デアルト思フノデアリマス、私ハ是等ノ諸點ニ強イ希望意見ヲ附シマシテ本案ニ贊成致シマス

○櫻井委員長 小池四郎君
○小池委員 贊成ノ意ヲ表シマス
○櫻井委員長 長谷長次君
○長谷委員 贊成ノ意ヲ表シマス、今ノ加藤君ノ利害ヲ度外視シテ國立ノ大研究所ヲ設ケルト云フ此ノ行キ方ガ焦眉ノ急デアリマス、成程事業會社法案ト云フモノガ間モナク出來ルヤウナ形ニナツテ居リマスルガ、其ノ國策會社ガ之ヲ擔當スルト云フ風ナコトハ、吾々ハ今日十分期待シテ居ルノデアリマスルケレドモ、其ノ前ニ今ノ一大國立研究所ヲ設ケル、ソレデナケレバ日本ノ高度ノ物理化學、電氣化學ノ發達ト云フモノハ到底望ミ得ナイノデアリマス、洵ニ恥カシイ案ヲ今日出サレテ居ルト思ツテ居ルノデアリマスルガ、益々急速、不眠不休ノ態勢ヲ一ツ取ラレテ、茲數年ノ間ニ目的

達成ニ邁進シテ戴キタイト存ジマス、此ノ點特ニ希望致シテ置キマス
○櫻井委員長 討論ハ終局致シマシタ、是ヨリ採決ヲ致シマス、原案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
〔總員起立〕
○櫻井委員長 起立總員、仍テ本案ハ原案ノ通り可決確定致シマシタ
〔拍手起立〕

○櫻井委員長 是ヨリ石炭配給統制法案ヲ議題ト致シ、質疑ヲ繼續致シマス——鶴惣市君
○鶴委員 私ハ商工大臣ニ先ヅ御尋ヲ致シマス、政府ハ本法案ノ實施ニ依リマシテ、此ノ急迫セル所ノ石炭ヲ六百萬噸ト云フ大増産ガ出來ルト云フコトヲ如何ニモ自信ガアルモノノ如ク再三仰シヤツテ居リマスルガ、若シ是ガ計畫ニ間違ヒナク其ノ増産ガ出來ルトシマスレバ、洵ニ國家ノ爲ニ喜バシイノデアリマス、併シナガラ此ノ増産ガ政府ノ仰シヤル如ク必ズ間違ヒナク可能デアル、唯斯ウ一遍仰シヤイマシテモ、是デ私共ハ十分納得スルコトガ出來得ナイノデアリマス、尤モ曩ニ山本委員ヨリ御尋ニナリマシタ其ノ御答ニ、努力其ノ他必要ノ資材ハ優先的ニ配給スルト言ハレマシタ、ソレハ増産ニ非常ニ有利ナコトデアリマスルガ、唯其ノ努力資材ノミヲ以テ六百萬噸ト云フ大増産ガ出來得ルカト云フコトヲ聊カマダ疑問ニ思ツテ居リマス、ソコデ私ガ商工大臣ニ御尋シタイノハ、六百萬噸ノ石炭増産ノ内容——碎ケテ申上ゲマスレバ、北海道デドノ位、筑豊デドノ位、宇部デドノ位、肥前デドノ位、又磐城方面デドノ位ト

云フヤウデ、極ク吾々ガ納得行クヤウナ數字ヲ御示シ願ヒタイト思ヒマス、又振興開發ニ依リドノ位ノ御見込ヲサレテ居ルカ、サウ云フ點ヲ明細ニ御説明願ヒタイト思ヒマス
○東政府委員 六百萬噸ノ増産ニ付キマシテハ昨日モ申上ゲマシタ通り、主ナル山ニ付キマシテ、具體的ニ調査ヲ致シマシテ、其ノ増産可能量ノ見込ミヲ付ケマシテ立テ案デゴザイマスカラ、架空ノモノテハゴザイマセス、其ノ案ニ付キマシテ尙ホ詳細ニ、ドノ方面デ幾ラト云フヤウナコトハ、是ハ他ノ機會ニ申上ゲタイト思ヒマス

○鶴委員 ソレデハ今ノ問題ハ他ノ機會ニ御説明願フコトニ致シマシテ、此ノ増産計畫ニ對シマシテ、私ハ此ノ増産ガ果シテ可能ナリヤト云フコトヲ幾ラカ危ブム者デアリガ故ニ、斯ウ云フ面倒臭イ御尋ヲスル譯デアリマス、ソレト云フノハ、丁度電力問題ニ見マシテモ、全ク想像セス所ノ電力饑饉ガアリマシタガ爲ニ、我が產業界ニ及ボシタ影響ト云フモノハ甚大ナルモノガアツタノデアリマス、今度ノ政府ノ六百萬噸ノ石炭増産計畫ニ依ツテモ、此ノ六百萬噸増産可能ト云フ所デ有ル來年度ノ物動計畫ガ立テラレルモノト思ヒマス、ソコデ若シ此ノ六百萬噸ノ増産ニ一寸デモ間違ガ出來マシタナラバ、アノ電力ノ場合ト同様ニ我國產業界ニ非常ナル動搖ヲ與ヘルト思ヒマスルガ故ニ、之ヲ私ハ憂慮スルノ餘リニ此ノ問題ヲ特ニ御伺シヒタイト思フノデアリマス、ソレカラ石炭増産ニ對シマシテ、五百五十萬噸ニ對スル一應當リ四圓ノ増産獎勵金、ソレカラ振興開發ニ對スル助成金トシテ千六百八十八萬圓、是ハ三箇年計畫デアリマス、ソレカ

ラ石炭買收價格補償金トシテ四千四百八十八萬圓、是ハ本年度限りデアリマス、私ガ茲ニ御伺シタイト思フノハ、此ノ二千二百萬圓ノ増産獎勵金ト云フモノハ、私ノ考デ申シマスレバ、今後最モ資金ノ豊富デアル、又優良鑛區ヲ澤山持つテ居ル所ノ、所謂昭和系ノ大炭礦主ノ方ガ多ク此ノ増産獎勵金ノ恩典ヲ受ケルノデハナйкаト思ヒマス、ソレデ私ハ増産ニ付キマシテハ、先達テ本會議デモ申上ゲマシタヤウニ、鑛區ノ整備所謂中小炭礦業者デ經營シテ居ル既設ノ設備ニ依リ鑛區ヲ整備スルコトニ依ツテ、年々百萬、二百萬ト云フ増産ガ可能デアルト云フコトヲ主張シテ居リマスルガ故ニ、此ノ増産ニハ先ヅ大手筋ガ持つテ居ツテ遊バシテ居ル所ノ此ノ優良鑛區ノ整備ト云フコトニ相當ニ力ガアルモノト斯様ニ考ヘマスガ、此ノ鑛區ノ整備ト云フ方面ニハ商工省ハ今マデドウ云フ御手續ヲ執ツテ居ルノデアルカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

○東政府委員 鑛區ノ整備ト云フ問題ハ、炭礦ノ經營ヲ合理的ニシマシテ増産ノ目的ヲ達スル爲ニ有效ナ方法デアルト考ヘテ居リマス、之ニ付キマシテハ御承知ノヤウニ必要ナ場合ニハ、重要鑛物増産法ニ依ル命令モ出シ得ル譯デアリマスガ、從來ノ方針ト致シマシテハ、成ベク業者間ノ話合ニ依リマシテ、又ハ商工省ナリ、鑛山監督局ノ斡旋ニ依リマシテ、圓滿ニ協議ガ進メラレテ行キマスモノハサウ云フ方法デアリタイト云フ方針ヲ執ツテ居リマシテ、命令ヲ出シマシタノハ今日マデマダゴザイマセス、併シ必要ナモノハ漸次話合ヒニ依ツテ協議ガ進ンデ行ツテ居ルヤウナ狀況デゴザイマス、併シナガラ今後尙ホ必要ナモノデアルニ拘

ラズ、業者間ノ協議ガ整ハナイト云フ場合ニハ、重要鑛物増産法ニ依ル命令モ必要ニ應ジテ出ス積リデゴザイマス

○鶴委員 既ニ先年重要鑛物ノ増産ニ對シテ、其ノ後此ノ法ガ成立致シマシタ後ニ、中小炭鑛業者ヨリ商工省ノ方ニ其ノ願ヲ出サレタコトハ二十六件カアリマスガ、會テ殆ド是マデ其ノ解決ヲ見ナイノデアリマス、殊ニ大手筋ハ自分ノ鑛區ヲ手放サウトハ容易ニハ致サヌノデアリマス、私共ハ斯ウ云フ石炭大飢饉ノ際ニ、又國家ガ要求スル最モ必要ナ石炭ヲ、一番國家ノ恩惠ヲ得テ今日ノ富ヲ得テ居ル大資本家、斯ウ云フ連中ガ澤山ノ優良鑛區ヲ遊バセテ置ク、ソレヲ人ニ讓ルコトニ依ツテ國家ノ爲ニ幾ラデモ炭ガ出ルト云フコトナラバ、自ラ進シテ讓ルベキデアルト思フ、又斯ウ云フ鑛區ニ對シテハ出來ル限リ政府ノ力ヲ以テ一日モ早く整理シテ戴ケバ、石炭業者ノ主張スル如ク、少クトモ百万觔ニ百万觔ノ石炭ガ出ルト云フコトニナレバ、非常ニ仕合セナコトト思ヒマスガ、此ノ事ニ付テハ今マデハ其ノ實現ヲ見ナカッタノデ甚ダ遺憾ニ思ヒマス、併シ今後ハ石炭ヲ必要トスル時期ニ當ツテ、政府ハ出來ル限リ其ノ整理ト云フコトニ對シテ善處サレンコトヲ希望シマス、ソレカラ三千二百萬觔ニ對スル四千四百八十萬圓ノ買取補償金デアリマス、ソレカラ新坑開發助成金トシテ掘進費ニ對シテ相當ナ助成金ガ三箇年計畫デ計上サレテアリマスカ、石炭ノ買取補償金ト云フモノハ本年度限リデアリマスカ、來年度ハ此ノ補償金ガナクテモ政府ノ考ヘテ居ラレヤウニ、石炭業者ガ増産計畫ニ從ツテヤルモノト考ヘテ居ラレノデアリマスカ、ソレトモ來

年又再來年ハドウ云フ計畫カ別ニアルノデアリマスカ、ソレヲ御示シ願ヒマス

○藤原國務大臣 先刻鶴君ヨリ御尋ニナリマシタ一觔四圓ノ増産獎勵金ハ大企業家ノ方ニ大部分行ツテ、小企業家ノ方ノ懷ロニハ入ラナイヤウニナルノデハナイカト云フ御尋デアリマスガ、色々計算致シマシタ其ノ基礎的數字ニ依リマス、ヤハリ數字ニ於テハ大企業家ガ澤山ノ仕事ヲシテ澤山ノ石炭ヲ出シテ居ルカラ、全體ノ金額ハ或ハ大企業家ノ方ニ多ク行クカモ知レナイガ、割合カラ言フト、中小炭鑛業者ノ方ニ歩合能ク分配セラレルト信ジテ居リマス

尙ホ補償金ハ今年度ノ分ハ分ツテ居ルガ、來年度ノ分ハドウカト云フ御話デアリマシタガ、來年度ノ分ハ今年度ノ事情ヲモウ少し眺メマシテ、更ニ立案致シタイト存ジテ居リマス、斯ウ云フヤウナ狀態デアルカ、或ハ狀態ニ變化ヲ來スカ、ソコヲ能ク見マシテ、然ル後ニ方針ヲ決定致シタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○鶴委員 只今ノ大臣ノ御説明デ分リマシタガ、大臣ノ御説明ニ依リマスレバ、左様ナモノガ必要デアリサヘスレバ來年モ補償金ヲ出サレモト承知シテ宜シウゴザイマスカ

○藤原國務大臣 大體サウ云フ積リデ居リマス

○鶴委員 ソレカラ石炭業者ニ對スル金融問題ヲ一ツ承ツテ置キタイと思ヒマス、本會議デモ申上ガマシタヤウニ、是マデノ大手筋ハ別ト致シマシテ、中小炭鑛業者ガ金融ヲ受ケテ居リマシタノハ、興銀トカ其ノ他銀行業者ノ手ニ依ルモノハモウ殆ド微々タルモノデアルト云フコトハ大臣御承知ノ

管デアリマス、主トシテ其ノ融通ハ石炭ノ販賣權、使用權ニ依ツテ、石炭ノ需要家乃至ハ販賣業者ノ手ニ依ツテ大部分ノ融資ヲ受ケテ居ルノデアリマス、此ノ會社ガ成立スルコトニ依ツテ金融業者ハ逸早く自分ガ融通シテ居ツタ金ハ、モウ石炭ガ自分ノ手ニ直接取レルノデヤアリマセヌカラ、慌テ其ノ資金ノ回收ニ向ツテ居ルノデアリマス、今後政府ハ斯ウ云フ詰リ融資ヲ受ケテ居ツタ連中ノ肩替リト申シマスカ、サウ云フ御氣持ガ御有リデアリマセウカ

○藤原國務大臣 金融ノコトニ付キマシテハ、サウ云フ實際ノ事情モ能ク考ヘマシテ、今度ノ販賣會社ニ於キマシテ、資金ノ供給ヲ致サセルト云フコトニ計畫シテ居リマス、ト申シマスノハ、先ヅ一面ニ於テハ今度ノ販賣會社ガ全部ノ石炭ヲ買取ルノデアリマスカ、此ノ統制會社ガ資金ヲ貸スト云フコトガ最モ貸ス方カラ見テモ安全デアリマシテ、借リル方カラ見テモ便利デアル、唯今度ハ會社ガ大キイカラ、今マデノ會社ノヤウニ氣樂ニ勝手ニ膝組合セテ話ガ容易ニ出來ナイ、役所見タイニ大キナ會社ガカラ中々容易ニ話ガ出來ナイガラウ、斯ウ云フ風ニ御心配ニナルト思ヒマスガ、其ノ點ニ付キマシテハ、色々考ヘマシテ、全體ノ石炭ガ此ノ會社ヘ來ル、此ノ會社ガ金ヲ貸スト云フコトニ付テハ少シノ危險ガナイ譯デアリマスカ、當業者ニ出來ルダケノ便宜ヲ圖ツテ金ヲ貸ス方法ヲ講ジタイと思ツテ居リマス、所ガソレニシテモ大キナ會社デアルカラ、一寸門ヲ潜ルノデモ中々潜リニクイカラト云フノデ、サウハ行カスト云フヤウナ當業者ノ陳情モ度々聽キマシテ、ソレモ尤モデアリマスカ、是ハマダ確言

ヲ申ス譯デハアリマセヌケレドモ、場合ニ依ツタナラバ此ノ會社ノ子會社見タヤウナモノヲ設ケテ、サウシテ金融ナラ金融ガ氣樂ニ出來ルヤウナコトモ考ヘ得ルデヤナイカ、小サイ會社ヲ又別ニ設ケテソレガ金融ヲ専門ニスルト云フヤウナコトモ爲シ得ルト思ヒマスガ、兎ニ角ソレハ別問題ト致シマシテ、今ノ所デハ此ノ會社ガ絕對ニ炭ヲ買フノダカラ、來月分ノ炭ノ前金ヲ今月分貸ストカ云フ位ノコトハ容易ニ出來ル筈ダト思フノデアリマシテ、又サウ云フコトニ致シタイト思ツテ居リマス

尙又モウ一ツノ考ヘ從來ノ金融業者ト密接不離ナ關係ガアリマシテ、切ツテモ切レナイヤウナ非常ナ因縁ノ深イ關係ガアツテ、容易ニ此ノ肩替リガサウ云フ風ナ工合ニ出來ナイヤウナ金融等ニ對シテハ、從來ノ金融業者ガ販賣ヲ引受ケテ、サウシテ金融ト同時ニ販賣ノ方ノ手數料ヲ收入シテ居ツタト云フヤウナ色々ナ關係モアリマセウカラ、ソコデ今回ノ會社ニ於キマシテモ、一旦其ノ當業者ノ機關ヲ利用シテ販賣ヲサセルノデアリマスカ、其ノ金融業者ガヤハリ其ノ從來ノ販賣ノ關係ハ尊重セラレマシテ、販賣ノ手數料、即チ販賣上ニ於ケル收入ヲ取得スルト云フコトモ出來ル譯デアリマス、ダカラサウ云フヤウナコトモ此ノ組織ヲ組立テル時ニハ實ハ考慮致シテアリマスカ、運用ニ於キマシテハ、他ノ中小礦業者ニ金融上ノ不便ハ成ベク與ヘナイト云フヤウニ、ト云フ積リデ計畫致シテ居リマスカトヲドウゾ御承知願ヒマス

○鶴委員 大臣ノ御話デ一應ハ分リマシタガ、是マデノ實例カラ見マシテ、今マデ石炭業者ト云フモノハ、假ニ百万圓ノ炭礦價

値ガアルノヲ、銀行ニ持ツテ行キマスレバ
七箇月カ八箇月調査シタ結果、愈々百萬圓ノ
價格ガアリト看做シテ、ソレニ四十萬圓カ
精々生カシテ五十萬圓位ノ程度ノ金ヲヤツ
テ居リマス、ソレデ業者ハドウシテ居ツタ
カト申シマス、有ニル得意先カラ百萬
圓ノ山ニ對シテハ五十萬圓ヲ借りテ、其
ノ餘分ノ五十萬圓ハドウスルカト云フト、

ヤハリ増産計畫ノ資金ニ入レラレテ居ツタ
ノダト思ヒマス、是デ今日我國ノ石炭業界
ガ急速ニ發達シタノデアル、詰リ中小炭礦
業者ノ急速ナル發達ト云フコトハ、此ノ資
金ノ關係ニアツタト私ハ思ヒマス、ソレデ
之ヲ今大臣ノ仰シヤイマシタヤウニ、本會
社ヲ設立致シマシテ、今マデノ業者ガ融通
ヲ受ケタ。金ガ正當デアル——又不當ナ者ニ
ハ御貸シニナルコトハ出來マスマイガ、正
當デアル連中ニハ相當ナ融通ヲサレル、併
シ其ノ融通ヲサレルニシテモ、産金會社ト
カ其ノ他開發會社トカ、色々アリマスガ、
今マデノ實績ヲ聽イテ見マスレバ、其ノ手
續ニ容易デナイト云フ話ヲ聞イテ居リマス、
ソレデサウ云フ話ヲ聞キマスレバ、今度ノ
會社モサウ云フ手續ガ複雑デアツテ、容易
ニ借りラレヌ、此ノ石炭ノ増産ヲ獎勵サレ
ルダケノ詰リ石炭資金ガ容易ニ得ラレヌト
云フコトニナレバ、増産ドコロデハナイ、
兎ニ角仕事ニ行詰ルト云フヤウナ危險ガ多
分ニアルノデアリマス、ソレデ今大臣ガ仰
シヤツタ如ク、容易ニ借り得ルヤウナ簡易
ナ手續方法ヲ執ツテ戴ケバ、心配ハソレデ
解消スルノデアリマス、唯茲ニ伺ツテ置カ
ナケレバナラヌ問題ハ、此ノ會社ガ假ニ設
立サレマシテモ五十萬圓ノ會社デアリマス、
又本法案ノ十六條デ社債ヲ三倍マデ發行ス

ルコトガ出來マスガ、詰リ此ノ位ノ資金デ
今仰シヤルヤウニ資金ノ融通ヲナサル、ソ
レカラ毎日々々來ル所ノ石炭代モ完全ニ拂
ツテ行カレルト云フヤウナコトガ果シテ出
來得ルノデアリマセウカ

○藤原國務大臣 其ノ資金ノ供給、是ハ石
炭ノ專門ノ會社デアリマシテ、全部ノ石炭
ヲ自分デ取ルノデアリマスカラ、此ノ會社
トシテハ資金ノ供給ニ付テ危險ガ殆ドナイ
ト言ツテモ宜イト思ヒマス、デアリマスル
カラ資金ノ供給ト云フモノハ非常ニ容易デ
アラウト考ヘマス、只今子會社ヲ設ケル云
云ト申シマシタガ、是ハ此ノ席上デ申上ゲ
ルノハマダ少シ早イト思ヒマスカラ、私ガ
是モ一ツノ方法デアアラウト斯ウ申シタモノ
トドウゾ御諒解ヲ願フテ置キマス、之ニ對
シテ今政府トシテ子會社ヲ設ケルノダト云
フコトヲ申上ゲルノハ少シ先走ツテ居リマ
スカラ……此ノ會社ノ内部ニ於キマシテ、
石炭ノ資金ノ供給ノ一ツノ部門ヲ設ケマシ
テモ、金産會社等ノ例ヲ御引キニナリマシ
タガ、サウ云フコトニハナラナイヤウニ致
スコトガ必要デモアルシ、又當然デモアリ
マスカラ、ソコデ先刻カラ山本君ノ御質問
ニ對シテモ御答致シマシタ通りニ、此ノ會
社ノ經營ノ當局ハ、此ノ業界ノ經驗ノアル
人ニ頼ンデ、其ノ人ニヤツテ戴クト云フヤ
ウナコトモ、詰リサウ云フコトカラ出發シ
テ居ルノデアリマス、故ニ其ノ點ニ於テハ
出來ルダケノ便宜方法ヲ講ジテ、商賣人同士
ノ取引デアアルヤウニ、オ役所ト商賣人トノ
取引デアアルヤウナコトニナラナイヤウニハ
是非致シマシテ、十分ニ圓滿ナル便宜ヲ圖
ルト云フヤウナコトニ致シタイト考ヘテ居
リマス

尙又此ノ會社ハ五十萬圓ノ會社デアリマ
シテ、三倍ノ社債ヲ發行スルコトガ出來ル
ノデアリマシテ、先ヅ二億圓ノ金ガ融通出
來ル會社デアリマス、其ノ上ニ石炭ヲ一年
ニ十億圓トカ何億圓トカ云フ非常ニ大キナ
取引ヲ致シマスケレドモ、是ハモウ御承知
ノ通りニ此ノ大會社ガ統制的ノ仕事ヲ致シ
マスノデ、サウ云フヤウナ固定シナイ資金
ハ何トデモシテ銀行ノ融通ト云フモノガ容
易ク出來ルノデアリマスカラ、其ノ何億圓
ノ取引ニ對シテハ、自分ノ持ツテ居リマス
自家資本ヲ使フ必要ハ絕對ニナイト存ジマ
ス、皆其ノ需要者ニ渡シテ其ノ手形ヲ以テ
生産者ニ拂ヒマシテモ宜イシ、又ハ生産
者ニ先貸スルナラバ、銀行カラ融通ヲ
受ケテ生産者ニ先貸フシテモ宜イシ、其ノ
石炭代ナドニ付テハ、銀行ノ資金ヲ利用シ
タガ銀行モ便利デアリマスシ、會社モ其
ノ方ガ便利デアリマス、唯固定スル貸金ニ
對シテハ、銀行資金ヲサウ自由ニ融通スル
ト云フコトハ出來ナイカト思ヒマスガ、若
干ハ無論出來マセウト思ヒマスケレドモ、
サウ云フ中小炭山ニ對スル固定ノ資金ノ
融通ハ、自家資本ヲ以テ致スコトヲ原則ト
シナケレバナラナイト思ヒマスガ、マア其
ノ位ノコトハ此ノ位ノ資金ガアリマシタナ
ラバ出來ルノデハナイカト考ヘテ居リマス

○鶴委員 ソレカラ御尋シタイトハ、此
ノ石炭礦業ニ對スル今度戴キマシタ利益金
ノ配當率ヲ見マスレバ、一割二分ガ最高デ、
少ナケレバ八分位ニナツテ居リマス、將來
政府ノ御方針トシマシテ、配當金ハドノ程
度マデ御認メニナルノデアリマスガ、是ハ
商工省ノオ役人ニ尋ネルコトハ如何カト思
ヒマスガ、開發ニ大キナ關係ヲ持ツガ故ニ

御尋フシタイト思ヒマス
○藤原國務大臣 是ハ今一割二分ノ配當ヲ
シテ居ル會社デモ、色々ノ事情ガアツテ、
一割二分ハ苦シイケレドモ、株價ヲ維持シ
タイトカ、株主ノ色々ノ御考ガアツタリシ
テ、一割二分ヲ維持シテ居ル會社モゴザイ
マセウ、又實際ハ一割配當シテモ宜イケレ
ドモ、マア八分位ニシテ置イタガ時節柄
適當デアラウト云フノデ八分位ニシテ居
リマスカラ、必ズシモ配當ヲ制限シテ、配
當デ以テ標準ニスルト云フコトハドウカト
モ考ヘマス、又今マデ個人的企業家若クハ
僅カナ株主ガ寄ツテ企業ヲシテ居リマシテ、
配當ハ少クシテ、殘ツタ金ヲ以テ段々山ヲ
擴張シテ、サウシテ安イ資本ヲ以テ澤山ノ
炭ヲ出シテ居ルト云フ會社モゴザイマス、
又ハ資本金ハ非常ニ大キイケレドモ、今マ
デノ經營ガ良クナカツタトカ、或ハ高山
ヲ買ツタトカ云フコトノ爲ニ、資本金ノ割
合ニ出炭量ガ少イト云フ會社モアリマセウ、
サウ云フ譯デアリマスカラ、配當ヲ幾ラト
政府ガ制限スルコトハドウカトモ思ヒマス
シ、資本金ガ少クテ餘計炭ヲ出シテ居ル會
社ハ配當ヲ多クシテモ宜イ譯デアリマス、
サウ云フ譯デアリマスカラ配當ノ率ヲ抑ヘ
テ幾ラニスルト云フコトハ一寸此處デ申上
ゲルコトハ如何カト存ジマス

○鶴委員 今私ノ言葉ガ足りナカツタと思
ヒマス、私ノ申上ゲルノハ、配當ヲ抑ヘル
ト云フ意味デハアリマセヌ、兎ニ角世間デ石
炭業者ノ利益ガ甚ダ多イヤウニ言ハレテ居
リマスガ故ニ、私ハ石炭業者ノ利益ト云フ
モノハ、今配當率カラ見マシテ一割乃至一
割二分、少ケレバ八分、斯ウ云フ配當ハ決

フヤウナ機關ニ於テ相當ニ考慮セラレルコトト存ジテ居リマスガ、此ノ原案ニハソレハ織込デアリマセスト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、ソレカラ尙ホ新坑開發ハ大企業家ニハ便利ダケレドモ中小炭礦業者ニハ不便デハナイカト云フ御尋デアリマスガ、恐ラク中小炭礦業者ニ於キマシテモ此ノ助成金ヲ以テ新坑開發ヲスルト云フコトハ隨分アリ得ルト思ツテ居リマス、九州方面ナドハ相當ニ山モ古クナツテ居リマスルカラ、新シイ炭山ヲ開クト云フコトハ相當ニ困難デアラウトモ存ジマス、併シ又皆樣經驗ガアリマスカラ、色々ノ連絡モアリマスカラ相當ニ企業家モアラウト存ジマスシ、北海道トカ其ノ他ノ方面ニ於キマシテハ、割合ニ容易ニ開發スベキ山ガアツテ、今日マダ其ノ儘ニナツテ居ル所ガ澤山ゴザイマスカラ、日本全國ヲ見渡シタナラバ、中小炭礦業者ニ於テ此ノ助成金ニ依ツテ開發スルモノハ相當ニナラウト云フ見込デ居リマス

○鶴委員 中小炭礦業者ニ依ツテ新坑ヲ開發スルト云フコトハ、是ハ又アルコトヲ希望シマスガ、現在ノ如ク段々ト金融關係ナドガ今マデノヤウニ潤澤ニ行カヌ、ソレカラ利潤關係モ段々ト縮小サレテ來ルト云フコトニナルト、政府デ御考ニナツテ居ルヤウニ、サウ簡單ニハ私ハ行カナイト云フヤウナ考ヲ持ツテ居リマス、併シハ政府ノ御考ト私ノ考ノ違フ點ハ此處デ議論ヲシテモ同ジコトデアリマスカラ、是非政府ノ御考通りニ事業家ガサウナツテ呉レルコトヲ私等モ望ム譯デアリマス、ソレカラ、昨日モ山本委員ヨリ御質疑ガアツタヤウデアリマスガ、輸送關係デアリマス、昨年ノ年末カラ此ノ正月ニ掛ケテ殆ド輸送關係ニ行詰ツテ居ル事情ガアリマシテ、有ル炭ガ實際需要家ノ本當ノ必要ナ場所ニ運ベナカツタト云フヤウナコトガ石炭飢饉ノ聲ヲ大キクシタ原因デヤナイカト思ヒマス、是モ原因ハ色々話ヲ聞ケバアルヤウデアリマスカレドモ、根本ハ、貨車ノ不足、ソレカラ船舶ノ不足、殊ニ最近最モ政府ニ御考慮ヲ願ハナケレバナラス問題ハ、港ニ於キマスルアノ貯炭場デゴザイマス、貯炭場ガ最近非常ニ少イ爲ニ、折角貨車デ炭ヲ運ンデモ、其ノ炭ノ下シ場ガナイ、ソレデ貨車ヲ三日モ四日モ炭ヲ積ンダ儘止メテ居ツタト云フヤウナ實例モ澤山アルノデアリマス、貯炭場ノ確保ヲサレルコト、港ノ設備ヲナサルコト、ソレカラ鐵道運賃ハマア政府ノ方デ御考ニナリマセウガ、船運賃ノ方デアリマス、實際現在ノ船運賃デハ船會社ガ容易ニ船ヲ廻シテ呉レマセヌ、マア政府ノ強制命令ヲ施行サレル關係ダケハ船ガ廻ツテ居ルヤウナ有様デアリマスカレドモ、其ノ他一般ノ取引關係ニ於テハ、船ガ中々容易ニ廻リマセヌ、ソレデ、北海道ノ如キハ、今年ノ正月デアリマシタカ、殆ド六十萬噸ノ貯炭ガ出來タト云フコトデ、非常ニ其ノ間業者ガ惱ミ、石炭炭礦主ガ非常ニ惱ンダト云フ話モ聞イテ居リマス、昨日モ鐵道省關係ノ御役人ノ御答辯デハ、石炭ハ特別ニ早く輸送ノ關係ヲ取扱フ、今マデハ荷物ノ著荷順ニ依ツテヤツテ居ツタケレドモ、今後ハ相當貨車モ多クズルガ、特ニ早く取扱フト云フヤウナコトヲ言ハレタヤウデアリマス、併シ私ハサウ云フコトデ、サウデゴザイマスカト言ウテ納得ハ出來ナイノデゴザイマス、各種ノ委員會デ政府ノ御話ヲ聽イテ居リマスレバ、殆ド肥料ノ委員會デハ

肥料ニ必要ナル貨車ハ早く廻ス、又米ノ委員會デハ米ヲ優先的ニヤルト言ヒ、一體政府ハドレヲ最初ニヤラレカ見當ガ付カヌ位デアリマシテ、到ル處ノ委員會デ優先的ニヤラヌト云フ言葉ヲ使ハレテ居リマスガ、サウ云フコトデハ私等ハ政府ノ御言葉ヲ信ズル譯ニハ行キマセヌ、先刻モ一寸問題ニナツテ居ツタヤウデアリマスガ、兎ニ角十人ノ御客サンニ對シテ皆ニ程良イコトヲ言ツテ居リマスガ、結局ドレヲ一番自分デ好イテ居ルカト云フヤウナコトノ疑ガ起ルノデアリマス、ソレデ私ハサウ云フ時ニ絶對此ノ石炭ニ限ツテ遺憾ノナイコトヲ要求スル譯デアリマス

ソレカラ次ニハ労働者ノ問題デアリマスガ、最近ハ各方面デ問題ニナツテ居リマス、地下労働者ニ對シテハ優遇セヨト云フ言葉ハ盛シニ聞クヤウデアリマス、又今日ノ地下労働者ニ對シテハ、相當ニ最近デハ優遇案ヲ以テ臨シデ居ルヤウデアリマスカレドモ、何ヲ言ヒマシテモ此ノ軍需景氣ニ依ツテ最近ノ労働者ハ、地下デ最モ危険ナ仕事ヲセヌデモ、地上デ安全ナ場所デ働イテ相當ノ收入ガアルノダカラ、成ベク此ノ地下作業ニ從事スルコトハ避ケウトスル風ガアルノデアリマス、ドウシテモ此ノ地下労働者ニ安シジテ石炭作業ニ働カシムルト云フコトニナリマスレバ、地上労働者ヨリモ一層ノ優遇案ヲ茲ニ作ラナケレバナラスト思ヒマス、私等ハ決シテ現在ノ炭礦礦夫ノ賃銀ガ安イトハ申シマセヌ、併シナガラ此ノ地上労働者ノ方ノ賃銀ガ高イ爲ニ、地下労働者ノ賃銀ガ安ク見エルノデアリマス、ソレデ其ノ差額ト云フモノヲハツキリ政府ノ方デ御決定ニナル必要ガアリハシナイカ、

斯様ニ考ヘマス、ドウシテモ地下労働者ニ對シテハ出來ル限りノ待遇ヲ施サナケレバ、所謂増産ヲ必要トスル石炭ガ出ナイ、機械力ニ依ツテ將來ハ大イニ増産計畫ヲナサルデアラウトハ思ヒマスレドモ、何ヲ言ツテモ機械力ダケデハ行カヌ場合ガ澤山アルノデアリマス、ソレデ此ノ石炭礦夫ニ對スル所謂賃銀ノ制定ニ對スル優遇案、ソレカラ礦夫ガ住ンデ居ル所ノ住宅ノ如キデモ、最近大分改良サレマシタガ、其ノ住居ナドニ、相當設備ヲシテ置カナケレバ、設備ガ惡イト言ツテ礦夫ハ來ナイ、又來タ人デモ好イ設備ノ所ニ變ツテ行クト云フヤウナ有様デアリマス、ソレデ斯ウ云フ風ナ方面ニモ政府ハ相當ニ各炭礦ニ向ツテ其ノ設備ヲ公平ニ要求サレル必要ガアリハセヌカト考ヘマス、ソレカラ是モ先程山本委員カラ御尋ニナツテ居ツタヤウデアリマスガ、礦夫ガ始終移動スルコトハ、年間ヲ通ジテ二十五萬人ト申シテ居レルヤウデアリマス、假ニ一箇月當リ十七萬噸ノ炭ヲ掘ルトシマスレバ、二十五萬人デハ約四萬噸以上ノ出炭能率ニ當ルト考ヘマス、是ハ最近炭礦經營者ノ側ノ方デハ、之ヲ防止シテ呉レト頻リニ言ツテ居リマスカレドモ、色々ナ條件其ノ他ノ關係デ礦夫ノ移動ト云フコトハ、ドウシテモ抑ヘルコトハ出來マセヌ、最近厚生省ノ方デハ礦夫ノ移動防止ニ付テハ、礦夫ガ他ノ坑内ニ行カヌヤウニスルト云フヤウナ御話デゴザイマスカレドモ、礦夫ト云フモノハ自分ガ直リタイト思ヘバ、正規ノ手續ニ依ラズ一應自分ノ郷里ニ歸ルコトニ致シマシテ、サウシテ十日間カラ二週間位休シデ、サウシテ他ノ炭礦ニ行ツテ居ルヤウナ形勢デアリマス、尤ウスレ

バ其ノ間折角能率ノアル鑛夫ガ十日或ハ二週間モ休ムト云フコトニナリマシテ、ソレガ一人カ二人ナラバ兎モ角モ、二十五万人ノ人ガサウ云フ風ニシテ移動シテ居ルト云フコトニナレバ、此ノ勞働者ノ拂底ノ際ニ由々シキ大問題デアアルノデアリマス、此ノ移動防止ト云フコトニ付キマシテモ、政府ト致シマシテハ相當ノ御考慮ヲ願ヒタイ問題ト考ヘマス

○藤原國務大臣 只今御述ニナリマシタ中ニ於テ、第一貯炭場ガ不足デアツテ、ソレガ爲ニ貨車却シガ出來ナイト云フ實情ニアルト云フ御話デゴザイマシテ、是モ御尤モト存ジテ居リマス、ソレカラ港ノ設備ガ不完全デ、ソレガ爲ニ折角ノ貯炭ヲ積出スコトガ出來ナイ、又北海道等ニ於キマシテハ、小樽ノ今年ノ狀態ナドヲ聽キマシテモアノ上方ノ方デハ假令千應デモ石炭ガ欲シイト思ツテ非常ニ躍起トナツテ、各方面ノ工場ノ貯炭ヲ借受ケテ、サウシテ電氣ヲ作ツテ居ツタ、サウ云フ際ニ北海道ニ於テハ何十萬應ト云フ貯炭ガアツテ、汽船ガ十六艘モ居ツテ是ガ積込ガ出來ナクテ困ツテ居ツタ、ソレデコチカラ關係各省ノ官吏ガ出張シテ、土地ノ有力者ノ努力ヲ得テ、臨時ニ高イ人夫賃ヲ拂ツテ非常ノ積込ヲシタカ云フヤウナコトヲシテ、漸ク急場ヲ凌イダト云フヤウナ實情ニアルコトハ、鶴君ガ私ヨリハ尙ホ能ク御承知ノ筈デアルト思ヒマス、ソコデ本法案ヲ立案シタ時ニハ、サウ云フコトノ經驗ヲ沁ミ、感ジテ居ツタ時ニ實ハ立案シタノデアリマスカラ、ソコデ是ハ各炭鑛業者ハ、假令大企業者ト申シマシテモ、ヤハリ皆分レテ自分々々ノ利害ヲ主トシテ今日成立ツテ居ルノデアリマス

カラ、其ノ大企業家ト雖モ十分ナ貯炭場ヲ持ツテ居ル譯デモナシ、十分ナ積込ノ設備ヲ持ツテ居ル譯デモナイ爲ニ、斯ウ云フコトニ相成ルノデアリマスカラ、此ノ會社ガ今日ヨリサウ云フコトヲ實行スルト云フコトハ出來マセヌケレドモ、徐々ニ或ハ自分ノ貯炭場ヲ持ツトカ或ハ港ノ設備ヲ自分デ改良シテ完全ナ積込場ヲ造ル、或ハ小樽トカ室蘭トカ云フヤウナ現狀ヲ聞キマス、相當ニ積込ノ設備ハ、今鐵道省デ持ツテ居リマスルモノダケデハ今年ノ計畫カラ參リマスモ甚ダ不完全ト思ヒマス、アレデ十分トハ思ハレマセヌ、サウ云フ所ハ漸次鐵道ニ於テ完全ナ積込ノ設備ヲ拵ヘテ呉レバ、無論ソレデ結構デアリマスガ、若シサウ云フコトガ實行不可能デアレバ、此ノ會社自身ニ自分ノ積込場或ハ舁モ持タナケレバナラス、サウ云フヤウニ總テノ陸上ノ設備ヲ此ノ會社ガ漸次完備シテ掛ルト云フコトニナリマシタナラバ、今ヨリハ餘程總テノ運搬ノコトナドガ便利ニナリハセンカ、又便利ニシタイ、即チ斯ウ云フ統制ノ大會社ガ出來タコトハ一面カラ御考ヘナレバ、不便ノコトヤ政府ガ色々ナコトニ付テ手ヲ出シタリ世話ヲ焼イタリシテ、ソナナ世話ハ焼イテ呉レルナト云フヤウニ邪魔ニ御考ヘナルヤウナコトモ相當ニ多イト考ヘマスガ、又一面ニ於テサウ云フ完全ナル設備ヲ致シマスレバ、今日大中小ノ色々ノ企業家ガ分立シテ色々ナ積込ヤ其ノ他ノ運搬ヲシテ居ルヨリハ、統制ノサウ云フ完全ナモノガ出來マスカラ、五年カ七年カ先ニナツテ見ルト、此ノ方ガ非常ニ國家ノ爲ニモ宜シ、當業者ノ爲ニモ有利ダト云フ風ナ御考ガ出テ來ルデアラウト思ツテ、サウ云フ

ヤウナコトマデモ實ハ考慮致シマシテ、此ノ立案ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、此ノ點ニ於テハ即日此ノ會社ガ出來タカラ、直チニト云フテ非常ニ御便宜ヲ與ヘルト云フコトハドウカト思フケレドモ、將來ニ於テハ必ズ此ノ方ガ宜カツタト云フコトヲオ感ジニナル、サウ私ハ信ジテ斯ウ云フ計畫ヲ致シテ居リマスカラ、其ノ事ヲ合セテ申上ゲテ置キマス、尙ホ勞働者ニ付テ御話ノコトモ御尤モデアリマス、如何ニモ其ノ通リデアリマシテ、一般勞働賃銀ガ高クナツテ參リマシタカラ、坑内勞働ノ賃銀ガ高イトハ申シテモ比較的ノモノデアリマスケレドモ、割合ニ宜クナイト云フヤウナ感ジヲ持ツテ、其ノ結果彼此レ移動ガ多クナツテ參リマスコトハ遺憾ナコトデアリマスカラ——是ハ鶴君ノ方ガ私ヨリ能ク御承知デスガ、例ヘバ増産獎勵金ヲ出シマス、全部其ノ收入ガ企業家ノ懷ロニ入ツテシマフヤウナ譯ニハ行カスト思ヒマス、又補償金ヲ出シテ此ノ會社ガ高ク買取ルト云フコトニナリマスレバ、炭鑛業者トシテハ高ク石炭ヲ賣ル譯デアリマスカラ、其ノ高ク賣ツタダケヲ全部炭鑛業者ト雖モ——無論中小炭鑛業者ハ尙更デアリマスガ、全部ソレヲ企業家ノ懷ロニ入レルト云フ譯ニハ行クマイト思ヒマス、今日ハ政府ガ石炭ノ値段ヲ上ゲルコトヲ抑ヘテ居リマスカラ、隨テ他ノ一般ノ重工業其ノ他ノ勞働者ナミニ坑内勞働者ノ賃銀ヲ上ゲルコトハ出來マセヌケレドモ、實質的ニハ補助金トカ補償金ニ依ツテ炭ノ値段ガ上ツタト同ジヤウナ效果ヲ炭鑛業者ガ得ルノデアリマスカラ、隨テ其ノ分ケ前ハ勞働者ノ方ニモ若干ハ參ルト云フコトハ當然ナコトダト思ツテ居リ

マスカラ、勞働者ノ爲ニモ相當ニ利益ニナル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、同時ニ又此ノ鑛夫ノ移動防止ナドニ付テモ御意見ノ通りニ努力致サナケレバナラスト思ヒマス、是ハ色々厚生省等ニ依ツテ考ヘマシタナラバ、適當ナ方法ガアラウカトモ考ヘテ居リマスカラ、是非努力ヲ致シタイト存ジマス、此ノ鑛夫ノ住宅トカ或ハ賃銀等ノコトモ只今申上ゲタコトデ御諒解ヲ得タコトト存ジマス

○鶴委員 ソレカラ御尋シタイコトハ、今度政府ガ企圖サレルヤウニ十五年度ガ六百萬應、來年度ハ一千万應ト云フヤウナ大増産計畫ヲ計畫サレル以上ニハ、業者モ此ノ危急ノ場合ノ増産計畫デアリマスカラ、或ル程度ハ一生懸命政府ニ協力致スト致シマシテモ、所謂坑内ニ於テ多少ノ無理ヲ來ス虞ガアルノデアリマス、サウ云フ場合ニ、ドウシテモ大増産ニ伴ウテ危險性ガ相伴フモノデアリマスガ故ニ、色々坑内ニ於ケル被害ノ程度モ多カラウト思ヒマス、斯ウ云フコトガ多ケレバ多イ程、所謂石炭鑛業ニ對スル投資家ナドモ投資ヲ心配スルト云フコトニ相成ルノデアリマスカラ、若シサウ云フ被害ガアリマスレバ補償シテ呉レルカドウカ、又復舊ニハドウ云フ方法ガアルカ、簡單ニ誰カ補償シテ呉レル人ガアルカ、政府ガ斯ウ云フ急激ナル増産計畫ヲサレル以上ハ、此ノ鑛業家ニ對スル被害ニ對シテ何カ安心ヲ與ヘルト云フヤウナ方法ヲ御考ヘニナラナケレバナラマイト思ヒマス、ソレニ付キマシテ私ノ私見ヲ申上ゲマスレバ、所謂石炭鑛業家ニ對シテ今保險料ト申シマスカ、適當リ幾ラト云フヤウナコトデ所謂保險費ト云フヤウナモノヲ出シテ、一

朝有事ニ備ヘルト云フコトが最も將來ノ石炭計畫ヲ可能ナラシムル所以デハナイカト考ヘマスガ、政府ニサウ云フ御計畫ハナイノデアリマス

○東政府委員 御話ノ通り相當無理ナ増産ヲヤルト云フコトニナリマス、之ニ伴ヒマシテ災害モ増加スル譯デゴザイマスカラ、之ニ付キマシテハ從來ト雖モ出來ル限リ監督モ致シ、又業者ト相談ヲ致シマシテ、災害ノ豫防ト云フヤウナコトニ力ヲ致シテ居ル譯デアリマス、只今ノ所特ニ災害ガ増加シテ居ル實情デハゴザイマセヌ、尙ホ保險ナリ何ナリノ制度ヲ設ケテ、サウ云フ災害ガアツタ場合ノ救済制度ニ付テ何カ考ヘテ居ラヌカト云フ御尋デゴザイマシタガ、ソレニ付キマシテハ只今ノ所具體的ニハ考ヘテ居リマセヌ

○藤原國務大臣 簡單ニモウ一言私ヨリ申添ヘテ御諒解ヲ得テ置キタイト思ヒマスノハ、午前中ニ山本君ノ御質問ニ御答ヲ致シマシタ通りニ、此ノ案ヲ拵ヘマス時ニハ、増産ヲ目的トシテ拵ヘタノデアリマスケレドモ、同時ニ減産ノ時ニハドウシタラ宜カラウカ、不況ノ時ニハドウシタラ宜カラウカト云フコトヲ考ヘマシテ、増産ト減産ト云フモノト、雙方ヲ睨合セテ作ツタ案デアリマス、ゾコデ私ノ狙ヒマシタ所ハ、増産ハ今日必要デアルカラ少シハ無理ガアツテモ、マア甚シイ危險ヲ冒シテ云フヤウナコトハ無論考ヘテ居リマセヌケレドモ、言葉デ申シマス、多少濫掘ニ互ルト云フヤウナ虞ガハハナキニシモアラズト思ヒマス、ソレデサウ云フコトニナラナイヤウニシタイトハ思ツテ居リマスケレドモ、是ハ何時デモ、例ヘバ今本議場デモ承リマシタヤウ

ニ、石炭代ヲ五圓モ上ゲタラバ、政府ハ何ヲシナイデモ増産ガ出來ルデハナイカト云フ御議論ガ澤山出マシタガ、假ニ五圓石炭ヲ上ゲルトシテモ、サウ云フコトニナレバ、ヤハリ濫掘ノ虞ナドハ非常ニ多イト思ヒマスケレドモ、今度ハ増産獎勵金ト云フヤウナコトデ行キマスノト、補償金デ行クノデアリマスカラ、サウ云フ濫掘ノ虞ハ多クハナイト思ヒマス、兎ニ角多少ノ無理ガ増産ノ爲ニ行ハレルト云フコトハアリ得ルトハ思ヒマス、ケレドモ又今度ハ不況ノ時ガ來マス、今マデノヤウナ狀態デアリマスト、モウ一遍ニ石炭ノ値段ガ暴落シテ、サウシテ減産シナケレバナラス、サウ云フ時ニナルト、資本ノ力ノ弱イ中小炭礦業者ガ慘メナ結果ヲ一番先ニ蒙ムルト云フコトニナルノデアアツテ、大企業家ガ一番アトマデ踏耐ヘルコトガ出來ル譯デアリマスカラ、サウ云フ場合ヲ考ヘテ見マスルト、此ノ會社デ以テ一手ニ買上ゲテ、一手ニ販賣スルノデアリマスカラ、減産ヲスル場合ニ、例ヘバ一應何圓トシテ減産ノ補償金ヲ今度ハ出ス、減産ノ獎勵金ト申シマスカ、減産シタモノニハ一應何圓出スト云フヤウナコトニシテ、減産ヲシテ行クト云フコトニシテ、市場ノ値段ハサウ暴落シナイデ——若干ハ下ツテ行クデセウケレドモ、市場ノ値段ヲ維持シテ行キマスカラ、此ノ會社ハ減産ノ獎勵金ナドモ出スコトガ出來、サウシテ漸次減産シテ行クコトガ出來ルト云フヤウナコトヲ致シマスカラ、中小炭礦業者ハ非常ニ助カル譯デアリマス、デアリマスカラソコデ資金ノ問題デ、今中小炭礦業者ニ金ヲ貸シテ居リマス人達ガ高い利息ヲ取ツテ——私ドノ位ノ利息ヲ取ツテ居

ルカト云フコトマデハ知リマセヌケレドモ、恐ラク高い利息ヲ取ツテ居ルダラウト思ヒマス、尙ホ其ノ上ニ販賣ノ手数料ヲモ相當ニ高ク取ツテ居ルト思ヒマス、サウ云フ高い利息、高い手数料ヲ取ルノハ、景氣ノ好イ時ニハ金ヲ貸シテモ非常ニ有利ダカラ宜イケレドモ、一旦不況ノ時ニハ是ハ慘メナコトガ來ルモノダカラ、其ノ時ノ危險ヲカバールスル爲ニ、サウ云フコトニナツテ居ルダラウト思ヒマス、ソレハ、外ノ事業デモ皆サウデアリマス、隨テ金融業者ガ高い利息ナドヲ取ルコトハ是ハ當然デアリマスガ、今度ハ斯ウ云フ風ニナツテ參リマスト、サウ云フ場合ニ中小炭山ハ現在ノヤウナ狀態ト比較スルト、サウ苦シマナイ、即チ金融業者ガ損ヲスルコトガ少クナル、危險ノ率ガ少クナル、金融業者ハサウ云フコトハ能ク分ルカラ、從來ノ金融業者デモ喜ンデ金融ヲスルト云フコトニ相成ルト思ヒマス、マアサウ云フヤウニシタイト思ツテ、實ハ斯ウ云フ組織デアレバ、サウ云フ時ニハ中小炭山ハ非常ニ助カル、サウシテ増産ノ時ニモ宜シ、減産ノ時ニモ宜イノデアリマスカラ、是ガ一番宜イデハナイカト思ヒマシテ——私ガ色々ノ仕事ヲ經驗シテ、増産モ獎勵シテヤツタコトモアルシ、減産モ亦獎勵シテヤツタコトガアルモノダカラ、兩方ノ事情ヲ能ク睨ミ合シテ、斯ウ云フ組織ニシテ置イタナラバ、ドウチノ場合ニモ、假令今若干ノ濫掘ガ行ハレテモ、今度ハ減産スル時ニソレヲ整理シテ行クカラ——餘リ業者ノ濫掘ナドヤラレテハ困リマスケレドモ、少シ位ノモノナラバ、旨ク是ガ調整シテ行カレルト云フヤウニ考ヘテ、立案ヲ致シタ譯デアリマス、此ノ事モ餘計ナコトノ

ヤウデスケレドモ、御參考ニ申添ヘテ置キマス

○鶴委員 ソレカラ内地ニ於ケル石炭増産ヲ必要トスル將來ノ見透シト申シマスノハ、ドウセ此ノ支那事變ガ何時解決ガ出來マスカ、是ハ分リマセヌガ、マア支那事變デモ解決致シマシタナラバ、北支方面カラ相當將來ハ豐富ナ石炭ガ輸入サレルモノト想像サレマス、ソレデ内地デハ其ノ間何年位ノ増産ヲ必要トスルカ、其ノ年限ト、ソレカラドノ位ノ數量デアルカ、サウ云フヤウナコトヲ若シ差支ガナカツタナラバ御説明願ヒタイト思ヒマス

○東政府委員 數字ニ付キマシテハ何レ繼メテ他ノ機會ニ申上ゲル折ガアルト思ヒマスガ、大體ノ考ヘ方ト致シマシテハ、假ニ現在ノ支那事變ト云フモノガ終リマシテモ、最近ノ日本ノ生産力擴充ノ模様、今後ノ産業ノ發達ト云フヤウナコトヲ考ヘ併セマスト、石炭ノ需要ガ急ニ成ルト云フヤウナコトハ考ヘラレナイト思ヒマス、今後尙ホ當分ハ石炭ノ需要ハ増加スルモノト考ヘテ居リマス、之ニ伴ヒマシテ、滿洲、北支方面ノ石炭ハ漸次開發サレマシテ、我國へ供給サレルコトト思ヒマスルケレドモ、是ハ今日ノ狀況カラ見マス中々急速ニハ行カヌノデアリマシテ、採掘ノ設備モ中々急速ニハ行キマセヌシ、ソレカラ輸送關係モ中十分ニ參ラスノデアリマスカラ、此ノ方面ノ石炭ガ相當豐富ニ我國ニ入ツテ來マシテ、國內ノ増産ヲ必要トシナイト云フヤウナ時期ハ尙ホ相當先デアル、斯ウ考ヘテ宜シイト存ジマス

○鶴委員 大分長クナリマスカラモウ一言御尋シテ私ノ質問ヲ終リマス、最近色々各

方面ノ炭礦ノ増産計畫ニ因リ、其ノ反面ニ於テ田地田畑ノ被害トカ其ノ他水産方面ニ對スル被害ト云フモノヲ考慮シナケレバナリマセヌ、最近業者間ニハ此ノ問題ガ非常ニ大キクナツテ、到ル處ニ色々ナ問題ガ起ツテ居ルノデアリマス、是ハ鑛業法ニ依ル補償規定モアリマスガ、石炭ノ場合ト致シマシテ、斯ノ如ク増産スルニハ相當地方ニ於テ、斯ウ云フ被害問題ガ起キテ參ルダラウト思ヒマス、此ノ被害解決ノ方面ニ向ツテ、商工省ト致シマシテハ、單ニ補償法ガアルカラト云フヤウナコトデ最近居ラレルヤウデアリマスガ、農林省方面ニ行キマスレバ、商工省ガ全部解決スルト云フ風デ——問題ノ一番起ルノハ農林省關係デアリマスガ、其ノ間業者ノ惱ミト云フモノガ非常ニ甚ダシクナリ、又其ノ被害ヲ其ノ儘放任サレルト云フコトニナリマスレバ、

(澤田委員長代理退席、委員長著席)

私ノ縣デアリマス福岡縣ノ如キハ、二千五百町歩カラノアノ美田ガ殆ド一面炭ニ化シテ居ルヤウナ狀態デアリマスガ、サウ云フコトガ到ル處ニ多クナリマシテ、石炭ノ方ハ假ニ相當ノ増産出來マシテモ、國家ガ今日石炭ト同様ニ必要トシテ居リマス食糧問題、農村關係方面ニ相當ノ大キナ影響ヲ與ヘルデアラウト思ヒマスカラ、一方ガ良ケレバ一方ガ惡イ、兩方良イト云フコトハ中困難デアリマスカラ、サウ云フ點ニ付キマシテ、所謂農林省トカ、各關係方面ト連絡ノ下ニ業者モ安心ガ出來ルヤウニ、又損害ニ對スル賠償モ早く解決出來ルヤウニ善處サレンコトヲ、此ノ場合希望トシテ申上ゲテ置キマス、是デ私ハ質問ヲ終リマス

○櫻井委員長 モウ間モナク鑛業法竝ニ砂

鑛法及ビ有機合成事業法案ガ本會議ニ上程セラレルコトニナツテ居リマス、仍テ本日ハ是ニテ散會シタイト思ヒマスガ、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時三十一分散會

衆議院鑛業法中改正法律案外
一件委員會會議錄第二回中正誤

頁 段 行 誤 正
七二二〇 買物屋 「パイオニヤ」